

第4章 エゾシカおよびヒグマ対策に関する広報・普及啓発業務

都市部におけるエゾシカ・ヒグマの出没対応には市民の理解と協力が必須であり、そのために継続的な広報・普及啓発を行い、自衛策の周知および施策に対する理解と協力を得ることを目的としている。

4-1 エゾシカおよびヒグマのホームページ作成

4-1-1 エゾシカ対策ホームページの作成

(1) ホームページ作成の目的

札幌都市部のエゾシカ出没問題に対して、出没情報を含めたホームページコンテンツを公開することにより、市民の意識向上を図り、事故を未然に防ぐことを目的とする。

(2) エゾシカ出没情報ホームページ新規作成・更新のための基礎調査

エゾシカ対策ホームページ作成にあたり、必要な機能や内容について洗い出しを行うため、以下の作業を行った。

① 野生動物出没情報配信事例の調査

北海道内外における野生動物出没情報（ヒグマ、ツキノワグマを除く）の配信事例について、国内を対象としたホームページ巡回調査を行い、緊急性の有無および掲載内容について調査を行った（表 4-1-1 参照）。

表 4-1-1 野生動物出没に関するホームページでの情報配信事例（ヒグマ、ツキノワグマを除く）

行政機関名 (HP)	対象動物	緊急性の有無	HP への掲載状況
静岡県三島市	サル	緊急性有 (サルに複数人が噛まれる事態が発生)	5日後から「緊急・危機管理情報」として逃走状況を数時間後に HP に掲載。事態終息まで継続。
広島市西区	イノシシ	緊急性無	年度ごとに出没マップを掲載。

ヒグマ・ツキノワグマを除く、野生動物出没に関する情報配信事例は国内では少なく、定期的な情報配信は広島県西区ホームページより、イノシシ出没に関する情報が配信されているのみであった。

② エゾシカ出没情報配信のための分析

市街地に出没するエゾシカは、交通事故や器物損壊等の被害を及ぼす可能性があることから、エゾシカ出没の情報公開に関して、時間軸を主眼としてどのような配信方法が望ましいか、分析した（表 4-1-2 参照）。

表 4-1-2 時間軸を主眼とした分析結果の概要

周知までの時間	安全管理上周知すべき内容	周知対象
出沒対応時	出沒情報及び注意喚起等（事態が複数日にまたぐ例も存在する）	報道、周辺を通行するドライバー、地域住民
出沒対応後	再度出沒する可能についての注意喚起	
出沒が多い時期	シカ出沒時の心構え	市民全般

③ エゾシカ出沒地点地図作成方法の検討

エゾシカが出沒地に出沒した場合、移動能力が高いことから同一個体が広い範囲で目撃されることがしばしばある。これらの情報を線で結び地図に表示することは、情報が断片的であることと、表現が煩雑になることから好ましくないとし、市担当者との打ち合わせのうえ、出沒対応開始地点（最初にエゾシカを確認した場所）および、対応を終了した場所（行方不明となった場所を含む）を地図情報に標記することとした（図 4-1-1 参照）。

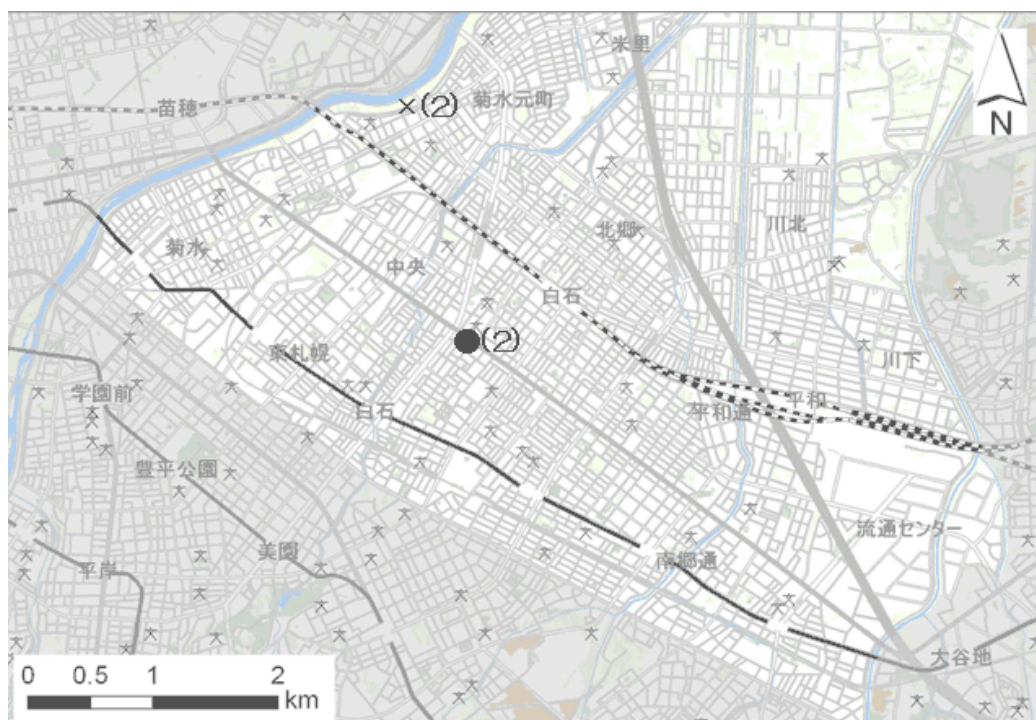


図 4-1-1 出沒地点地図例（●が出沒対応開始地点、×が出沒対応終了地点）

④ エゾシカ出没地点地図作成方法の検討

現行使用されている、札幌市のエゾシカ出没対応（野生シカ対応実態調査表）、および現行ヒグマ出没対応ホームページの内容を参考しつつ、出没対応ホームページ掲載項目について検討を行った（表 4-1-3 参照）。

表 4-1-3 エゾシカ出没対応ホームページ掲載項目について

項目	記述する内容
出没対応開始（終了）日時	出没対応を開始した（終了した）日時
出没対応開始（終了）場所	出没対応を開始した（終了した）場所の住所
経過	行方不明／見守り／捕獲／交通事故のいずれかを記述
内容	中途の経過、頭数、性別、他情報との関連など

（3）エゾシカ出没情報・普及啓発ホームページの設計

① エゾシカ出没対応情報公開フローの整理

エゾシカ出没時にホームページ上で公開する内容および公開までの流れを担当者と打ち合わせの上、フローとして整理した（図 4-1-2）。

- ・エゾシカ出没対応時に緊急広報が必要な場合、札幌市担当者により注意喚起内容を掲載する。
- ・現行では出没対応を行った各区において、内部的に対処記録の概要を記載、集約しているが、今後、このデータを活用して、地域向けの情報をホームページに掲載する。併せて、各区で把握している情報を一元的に管理することが可能となるような仕組みを検討する。

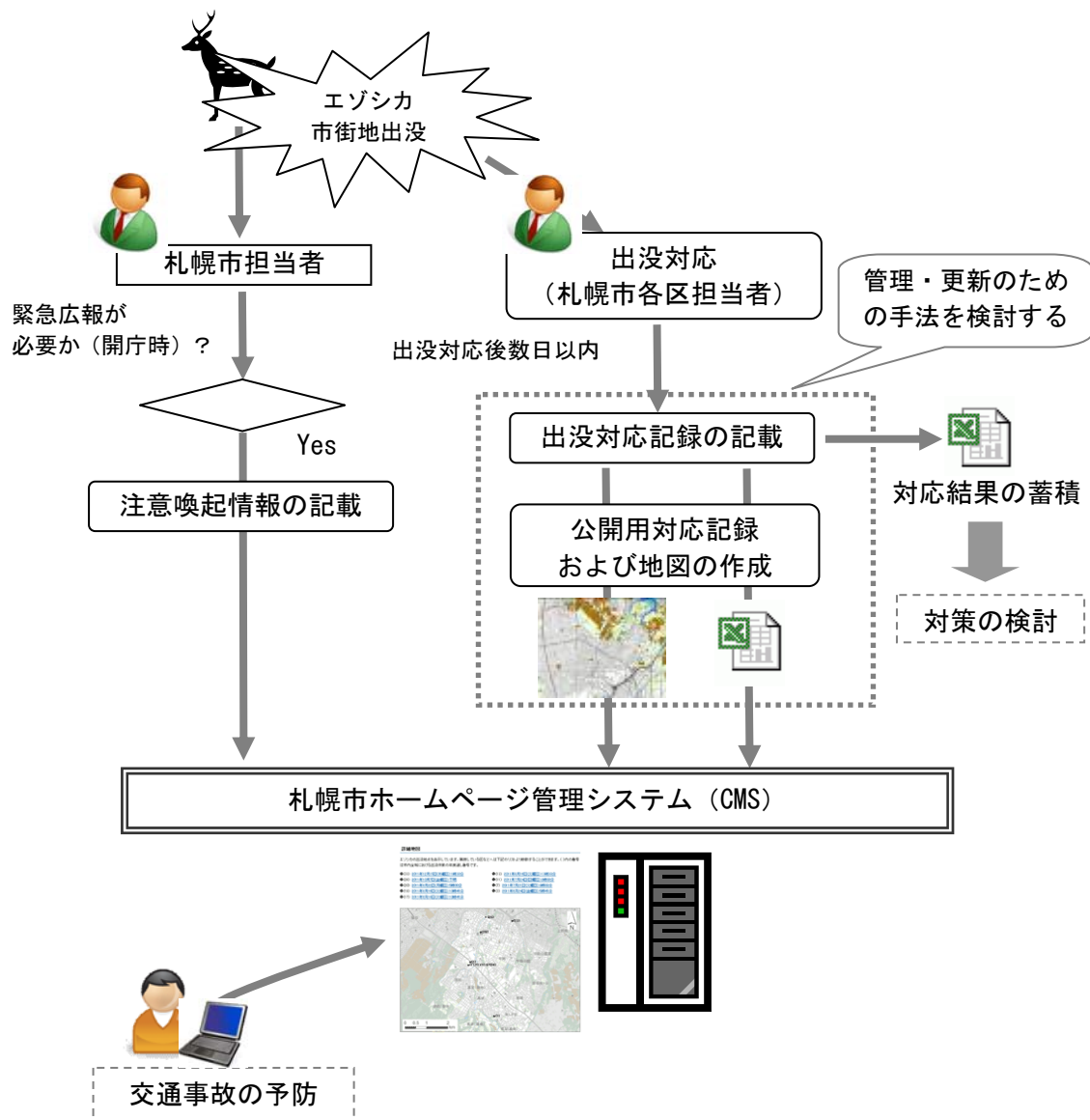


図 4-1-2 エゾシカ出没対応情報公開フロー

② 利用可能なソフトウェアアンケート調査の実施

ホームページ作成のための基礎調査結果に基づき、出没情報更新ホームページの設計を行った。エゾシカ出没情報は各区担当者が行うことを前提とするため、事前に利用可能なソフトウェアのアンケート調査（表 4-4 参照）を行い、設計内容に反映させた。

表 4-1-4 利用可能なソフトウェアのアンケート調査結果

ソフトウェア名称	区数
Microsoft Excel	11
Microsoft PoerPoint	6
Adobe Photoshop	2
Adobe Illustrator	3

③ エゾシカ出没情報ホームページ更新方法の設計

利用可能なソフトウェアアンケート調査結果を踏まえ、さらにエゾシカ出没情報ホームページの設計を行った。

- ・過去の出没情報を管理、分析可能とするため、「出没情報管理フォーム」を作成し、出没内容入力を行う。
- ・出没情報管理フォームから、対応経過報告フォーム及びホームページ様式への変換を可能とし、各区担当者の作業軽減を行う。
- ・出没地点地図は、風評被害および安易な接近等を避けるため位置を詳細に特定可能な表現方法を避け、一定縮尺の地図雛形（Excel、PowerPoint、Illustrator等）から出没地点を追記し、画像出力のうえ札幌市ホームページへアップロードする。

(4) エゾシカ出没情報公開システムの構築

① エゾシカ出没情報管理フォームの作成

Microsoft Excel 上で動作するエゾシカ出没情報管理フォームプログラムを作成した(図 4-1-3)。入力内容は、市が利用している「野生シカ対応実態調査表」を参考に項目を設定し、各入力項目について動作確認を行った。

The screenshot shows a web-based form titled "データの更新・各種様式作成" (Data Update / Various Form Creation). The form is divided into several sections:

- 概要情報 (Summary Information):** Includes radio buttons for selecting a district (e.g., 中央区, 北区, 東区, 白石区, 厚別区, 豊平区, 清田区, 南区, 西区, 手稲区) and input fields for "データ通し番号(各区ごと)" (1), "統一番号" (1), and "ホームページ公開番号" (1). There is also a checkbox for "HPに公開しない".
- 出没日時・場所 (Outbreak Date/Location):** Includes date and time pickers for the start (2011年4月28日 14時20分), a text field for the location (札幌市南区川沿3条2丁目), and buttons for "住所をGoogleMapで確認" and "緯度経度をGoogleMapで確認".
- 完了日時・場所 (Completion Date/Location):** Includes date and time pickers for the end (2011年4月28日 18時20分), a text field for the location (札幌市南区川沿2条1丁目), and buttons for "住所をGoogleMapで確認" and "緯度経度をGoogleMapで確認".
- 完結日 (Completion Date):** Includes a date and time picker for the final completion (2011年4月28日).

At the bottom, there are navigation buttons: "前のデータ", "次のデータ", "データを更新", "HP様式へ変換", "報告様式へ変換", and "閉じる".

図 4-1-3 エゾシカ出没対応管理フォームの入力例

② エゾシカ出没地図の作成

エゾシカ出没対応場所を公開するための各別地図を作成した。作成範囲は、縮尺 1:25,000 を基準として2~3枚の画像(図4-1-4参照)市街地で網羅できる縮尺に適宜設定し、出没地点の環境を把握しやすいよう、衛星判読より作成した主題図上に鉄道、道路網等を掲載した。これらの地図を Microsoft Excel、PowerPoint で出没地点を追記可能な地図雛形を作成した(図4-1-5参照)。

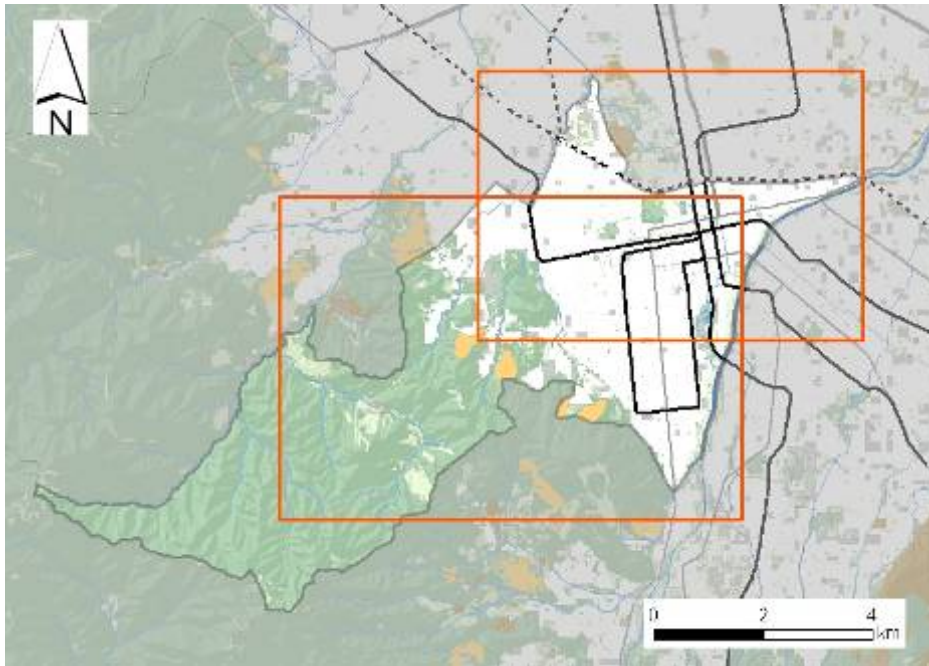


図4-1-4 エゾシカ出没地図範囲入力地図例(オレンジで囲まれるエリアが地図作成範囲)

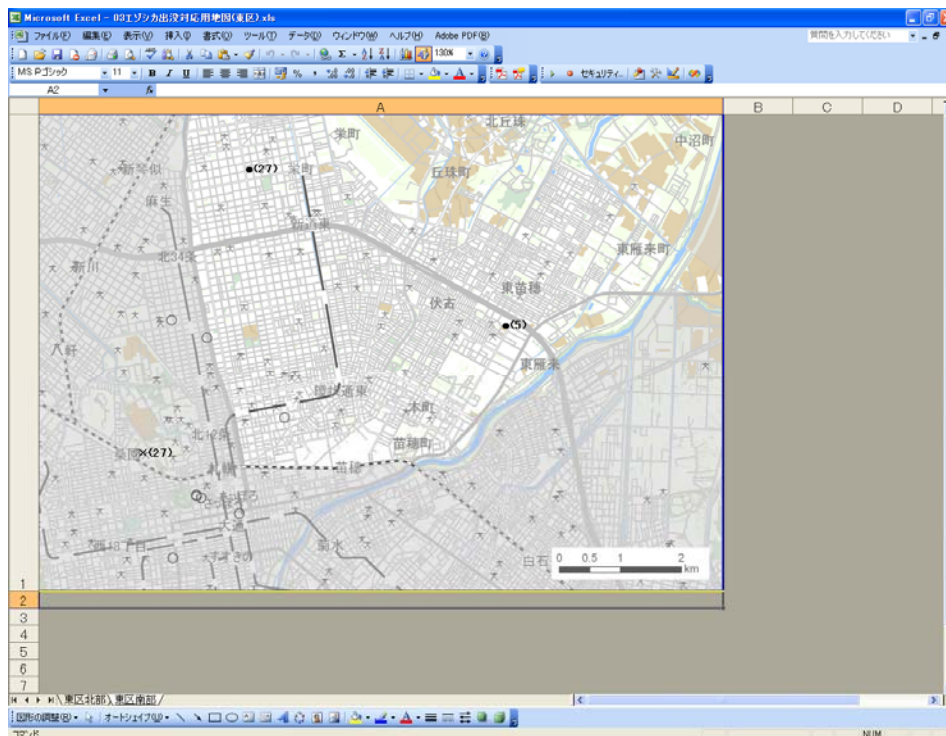


図4-1-5 エゾシカ出没地点入力地図例

③ エゾシカ出没対応データ管理・ホームページ管理マニュアルの作成

エゾシカ出没対応の情報管理から、ホームページ更新にいたるまでの作業手順について、作業マニュアル(図 4-1-6)を作成し、配布した。

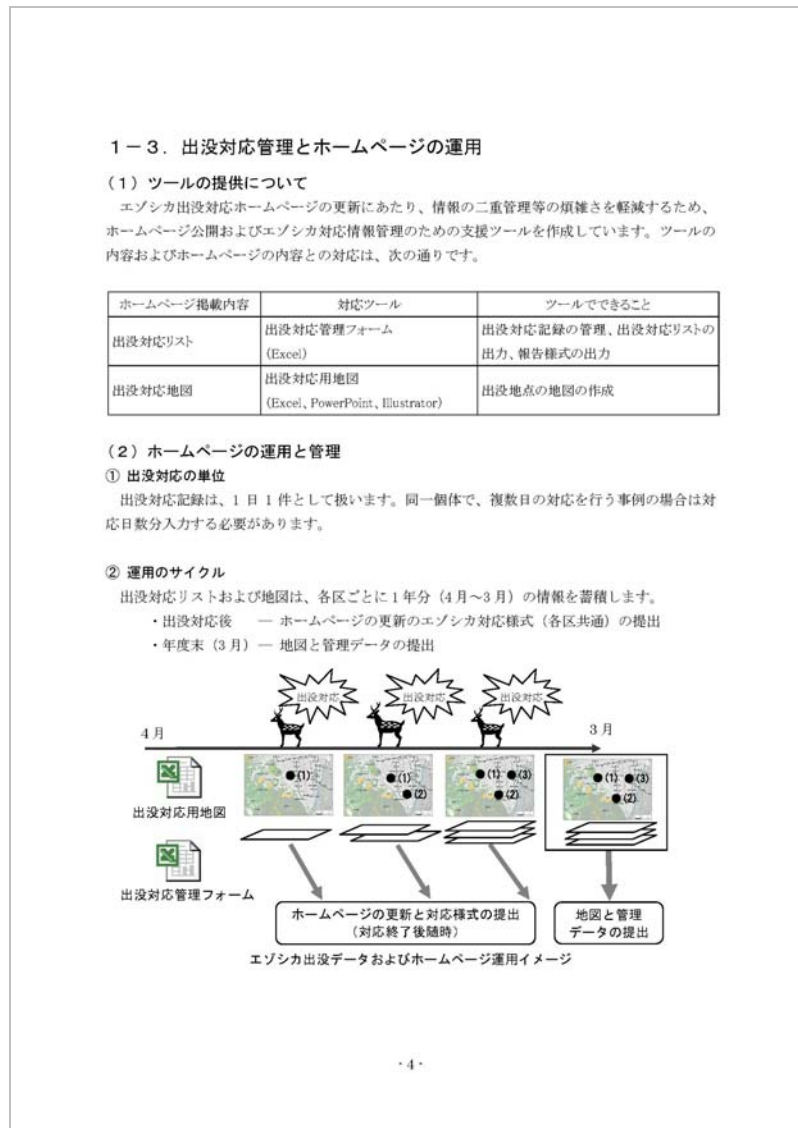


図 4-1-6 エゾシカ出沒対応データ管理・ホームページ管理マニュアル記述例

(5) エゾシカ出沒対応情報コンテンツ作成

平成 22 年度および平成 23 年度の札幌市公式のエゾシカ出沒情報を元に、出沒地点および対応内容を整理し、エゾシカ出沒情報のホームページコンテンツを作成した。コンテンツ形式は、今後の出沒対応ホームページの運用および整合性を考慮し、出沒対応の情報公開フローにのっとり、出沒地点地図(図 4-1-7) および出沒リスト(図 4-1-8)を作成した。

・組織案内 ・ Foreign language ・ 携帯サイト

札幌市
City of Sapporo

文字サイズ 縮小 標準 拡大 色合いの変更 キーワードを入力 検索

救急当番医 緊急時の連絡先 避難場所 サイトマップ

ホーム 防災・防犯・消防 **暮らし・手続き** 健康・福祉・子育て 教育・文化・スポーツ 観光・産業・ビジネス 市政情報

ホーム > 暮らし・手続き > 動物・ペット > 鳥獣(野生動物等)など > エゾシカ出没情報 > 東区

ツイート

東区

エゾシカ出没情報

地図上の四角い枠で囲われた区域をクリックすると詳細地図へ移動できます。また、隣接している区などへは下記のリストより移動できます。



【詳細地図】
[東区北部](#) | [東区南部](#)

【隣接している区・地域】
[北区出没地図](#) | [中央区出没地図](#) | [白石区出没地図](#) | [札幌市全区地図](#)

【出没リスト】
[全区の出没リスト](#)

エゾシカ出没地点

エゾシカの出没地点を表示しています。隣接している区などへは下記のリストより移動することができます。()内の番号は市内全域における出没件数の年度通し番号です。

- (27) [2011年10月4日\(火曜日\)1時10分](#)
- (23) [2011年9月14日\(水曜日\)7時40分](#)
- (26) [2011年10月3日\(月曜日\)16時41分](#)
- (5) [2011年7月14日\(木曜日\)4時40分](#)



図 4-1-7 エゾシカ出没情報

札幌市 City of Sapporo

組織案内 Foreign language 携帯サイト

文字サイズ 縮小 標準 拡大 色合いの変更 キーワードを入力 検索

救急当番医 緊急時の連絡先 避難場所 サイトマップ

ホーム 防災・防犯・消防 <暮らし・手続き> 健康・福祉・子育て 教育・文化・スポーツ 観光・産業・ビジネス 市政情報

ホーム > <暮らし・手続き> > 動物・ペット > 鳥獣(野生動物等)など > エゾシカ出没情報 > 全区出沒リスト

鳥獣(野生動物等)など

- ヒグマ対策
- ヒグマ出没情報
- エゾシカ対策
- エゾシカ出没情報
- カラス被害と対策
- ハチに注意!
- 住まいの虫たち

全区出沒リスト

平成23年度

札幌市全域地図へ

番号	区	出沒日時/対応終了日時	出沒場所/対応終了場所	経過	内容
●(33)	清田	2011年12月15日 1時30分 / 同日 5時15分	清田区真栄236番地付近 / 清田区真栄236番地付近	捕獲	1頭交通事故。 2頭行方不明。
●(32)	厚別	2011年11月2日 16時00分 / 同日 17時00分	厚別区山本付近 / 厚別区山本付近	行方不明	
●(31)	中央	2011年10月28日 10時00分 / 同日 12時00分	中央区南25条西7丁目付近 / 中央区南26条西10丁目付近	行方不明	No30内の1頭 と思われる。
●(30)	中央	2011年10月28日 13時00分 / 同日 17時00分	中央区 / 南区南30条西8丁目付近	行方不明	
●(29)	豊平	2011年10月16日 13時00分 / 同日 17時00分	豊平区中の島1条4丁目付近 / 豊平区中の島1条4丁目付近	行方不明	豊平川の中州 に2頭のシカ発見。

図 4-1-8 エゾシカ出沒リスト

(6) エゾシカ出没情報ホームページコンテンツの作成

エゾシカホームページのコンテンツは、市民がエゾシカに関する正しい知識を持ち、事故を未然に回避すること目的に、コンテンツを構成し内容を作成した(表 4-1-5 参照)。

表 4-1-5 エゾシカ対策のページコンテンツ構成

大項目	内容
エゾシカ出没情報	過去の出沒情報について、各区ごとに対応内容および地図のページを作成した。
エゾシカの生態・行動習性	エゾシカの基本的な生態について、多くの市民が理解しやすいよう、イラスト等を使用し、簡潔かつ平易に記述した(図 4-1-9 参照)。
交通事故に遭わないために	エゾシカとの交通事故に遭わないために、簡潔かつ平易に記述した。また多くの市民が親しみやすいよう、イラスト等を作成し使用した(図 4-1-10 参照)。
札幌市におけるシカ研究事例	過去に札幌市で取り組まれたエゾシカ対策資料について、再整理のうえコンテンツを作成した。
啓発活動用素材集	普及啓発用素材(パンフレット)のダウンロードが可能なコンテンツを作成した(図 4-1-11 参照)。

札幌市 City of Sapporo

文字サイズ 縮小 標準 拡大 色合いの変更 キーワードを入力 検索

救急当番医 緊急時の連絡先 避難場所 サイトマップ

ホーム 防災・防犯・消防 <暮らし>手続き 健康・福祉・子育て 教育・文化・スポーツ 観光・産業・ビジネス 市政情報

ホーム > <暮らし>手続き > 動物・ペット > 鳥獣(野生動物等)など > エゾシカ対策 > エゾシカの行動・生態

鳥獣(野生動物等)など

- ビグマ対策
- ビグマ出没情報
- エゾシカ対策
- エゾシカ出没情報
- カラス被害と対策
- ハチに注意!
- 住まいの虫たち

エゾシカの行動・生態

体の大きさ

体長

- オス:約 90～180 cm
- メス:約 90～150 cm

体重

- オス:約 50～130 kg
- メス:約 25～80 kg



ページの先頭へ戻る

ライフサイクル(エゾシカの一生)

- 4～5月:落角。オスは毎年この時期に角が抜け落ちて生え変わります。満1歳では枝分かれせず、2～3歳から枝分かれします。
- 6～7月:若いオスは探察行動(新たな生息地等を求める「探察」的な行動)に出ることが多くなり、メスはこの時期に子どもを出産します。
- 10～11月:繁殖期。動きが活性化しています。この時期のオスは攻撃的でとても気が強く危険です。
- 12～3月:越冬期。個体によっては越冬地まで季節移動します(11～1月頃にかけ、夏の生息地から秋の生息地へ移動する。3～4月頃に、積雪の変化に伴って、夏の生息地へ移動する。)



ページの先頭へ戻る

図 4-1-9 エゾシカの行動・生態

札幌市 City of Sapporo

文字サイズ 縮小 標準 拡大 色合いの変更 キーワードを入力 検索

救急当番医 緊急時の連絡先 避難場所 サイトマップ

ホーム 防災・防犯・消防 <暮らし>手続き 健康・福祉・子育て 教育・文化・スポーツ 観光・産業・ビジネス 市政情報

ホーム > <暮らし>手続き > 動物・ペット > 鳥獣(野生動物等)など > エゾシカ対策 > 交通事故にあわないために

鳥獣(野生動物等)など

- ビグマ対策
- ビグマ出没情報
- エゾシカ対策
- エゾシカ出没情報
- カラス被害と対策
- ハチに注意!
- 住まいの虫たち

交通事故にあわないために

ドライバーの皆さんへお願い

エゾシカの習性などをよく理解し、エゾシカを見つけたら減速をこころがけ、交通事故にあわないように日ごろから注意してください。

続けて飛び出す

エゾシカは群れで行動する習性があります。1頭だけでなく、連続して飛び出すことがありますので、道路脇にエゾシカを見つけたら減速してください。



道路上で立ち止まる

自動車のライトや走行音、クラクションなどに驚いて、道路上で立ち止まることがあります。走行中に道路上でエゾシカを見つけたら、減速してエゾシカが立ち去るのを待ちましょう。



道路上で滑りやすい

エゾシカのひづめは舗装道路では滑りやすく、道路上にいるエゾシカは動作が鈍くなります。ドライバーは、エゾシカが通ずるだろうと思わずに、減速をこころがけてください。



図 4-1-10 交通事故にあわないために



図 4-1-11 エゾシカ普及啓発用素材集

4-1-2 ヒグマ対策ホームページの作成

(1) ヒグマ出没情報ホームページ更新のための基礎調査

ヒグマ出没情報ホームページの改定にあたり、必要な機能や内容について洗い出しを行うため、以下の作業を行った。

① ヒグマ出没情報配信事例の調査

北海道内各市町村におけるヒグマ出没情報のホームページでの公開状況に関して、巡回調査を行いその概要をまとめた（表 4-1-6 参照）。

表 4-1-6 北海道内市町村のクマ出没情報のホームページ配信状況（平成 23 年 7 月時点）

市町村名	名称	担当部署	出没情報	地図の有無	備考
千歳市	ヒグマ情報	農業振興課調整計画係	Word	有 (Word)	地図とリストを Word に記載
苫小牧市	ヒグマ出没情報	環境衛生部 環境生活課	Html	有 (JPEG)	-
倶知安町	クマ目撃情報	農林課 畜産林政係	Html	有 (JPEG)	手書き地図をスキャン
旭川市	ヒグマ出没情報	環境保全課	地図上に 記載	有 (PDF)	5 年分の出没情報を道路網 地図上に記載
上川町	ヒグマ出没マップ	産業経済課農林水産グループ	Html	有 (PDF)	1年に1回まとめて更新か？
標茶町	熊出没目撃情報	農林課林政係	地図上に 記載	有 (Google)	GoogleMap を使用。最新の情 報を反映

ヒグマ出没情報については旭川、千歳などの都市圏および上川、標茶などの農・畜産業を主産業とする地域に分類され、管轄部署が農業関係となっているのが特徴である。地図は JPEG、PDF によって公開され、出没地点を詳細に位置確認可能な GoogleMap の使用は、標茶町のみにとどまった。

② 札幌市におけるヒグマ出没情報配信状況の整理

次に、札幌市各区のヒグマ出没情報（対象 6 区）についてホームページ巡回調査を行い、出没情報の内容（地図の有無、痕跡内容等）について整理し、現在使用している様式（様式 1：情報共有用、様式 2：報道機関各社用）との対応付けについて整理した（表 4-1-7 参照）。

表 4-1-7 札幌市各区のヒグマ出没情報ホームページ公開情報について（平成 23 年 7 月時点）

	項目	手稲	西	中央	南	豊平	清田
ホームページ巡回調査							
1	痕跡確認日時	○	○	○	○	○	○
2	出没場所	○	○	○	○	○	○
	出没場所地図	-	-	-	○ (1:15,000)	○ (1:25,000)	○ (1:30,000)
3	内容の体裁（定型/非定型）	定型	非定型	非定型	非定型	非定型	定型
3	様式 1 (内部) との対応						
	出没を確認した人の情報				○		
	ヒグマ情報						
	出没時の確認内容	○	○	○	○	○	○
	ヒグマの頭数			○	○		
	出没時の問題点						
	備考		○	○	○	○	○
4	様式 2 (報道) との対応						
	情報種別	○	○	○	○	○	○
	情報内容						
	体長・頭数			○ (頭数のみ)	○ (頭数のみ)		
	フン・痕跡の状況						
	対応状況						
	注意看板		○	○	○	○	○
	施設閉鎖の有無				○	○	○
市民への注意喚起		○		○			
	備考		○		○	○	○
5	出没掲載件数(2010 年度)	10 件	5 件	9 件	84 件	5 件	24 件

③ ヒグマ出没対応区へのヒアリング調査の実施

ヒグマ出没情報に関して、現状の問題点、留意点、ニーズ等を明らかにするため、ヒグマ対応各区に聞き取り調査を行い、出没情報提供の基礎資料とするためその結果をまとめた（表 4-1-8 参照）。

表 4-1-8 各区のヒアリング結果と意見

区名	更新体制	ヒアリングに寄せられた意見
手稲	地域安全係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細地図の公開は避けたい ・ 1:25,000 程度の縮尺地図がよいのではないか ・ 報道向け内容と HP 内容が一致している
西	広聴係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細地図の公開は避けたい ・ 1:25,000 程度の縮尺地図がよいのではないか ・ 紙媒体（回覧板・チラシ）のとの棲み分け
中央	広聴係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報道向け内容と HP 内容が一致 ・ 連絡票入力から HP へ反映できるとよい
南	広聴係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山間部のヒグマ出没情報は域外として地図に表示しない ・ レクリエーションを行う際のクマ情報について、問合せがある ・ 現在の地図より細かい地図での公開は避けたい
豊平	広聴係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図は町内会図（1:25,000）を Photoshop で加工し、掲載 ・ 注意喚起メッセージを載せてもよいのではないか
清田	広聴係から地域安全係に移管予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白旗山立ち入り禁止に関する問い合わせあり（HP を見たかどうかは不明）

以上、聞き取り調査の結果をまとめると、問題点およびニーズは以下の通りとなった。この内容を元にホームページの構成および、出没情報の公開手法について検討した。

【クマ出没対応ホームページ各区の現状】

- 現状 1. 紙媒体（回覧板、チラシ）とホームページでは、情報発信の想定対象が異なる。
- 現状 2. 報道への配信内容とホームページ内容を一致させている区がある。
- 現状 3. 登山、キャンプ等のレクリエーション実施団体などからの問い合わせがある。
- 現状 4. 出没件数の多い、南区の奥山地域は地図対象外としている。

【クマ出没対応ホームページに対する各区のニーズ】

- 要望 1. 風評被害や安易な接近を避けるため、詳細地図の公開は避けたい。
縮尺 1:25,000 が公開基準として挙げられている。
- 要望 2. 報告様式から簡単に公開内容に変換できるとよい

(2) ヒグマ出没情報・普及啓発ホームページの設計

① ヒグマ出没対応情報公開フローの整理

ヒグマ出没時にホームページ上で公開する内容および公開までの流れを担当者と打ち合わせの上、フローとして整理した（図 4-1-12）。

- ・現行は出没対応を行った各区から、対応記録の概要を記載、集約している。これに加えて新規に公開内容を記述、出没地図を作成しホームページに掲載する。内部での情報共有、情報公開については内容が重複するところもあるため、各区で一元的に管理し負担軽減となるような仕組みを検討する。

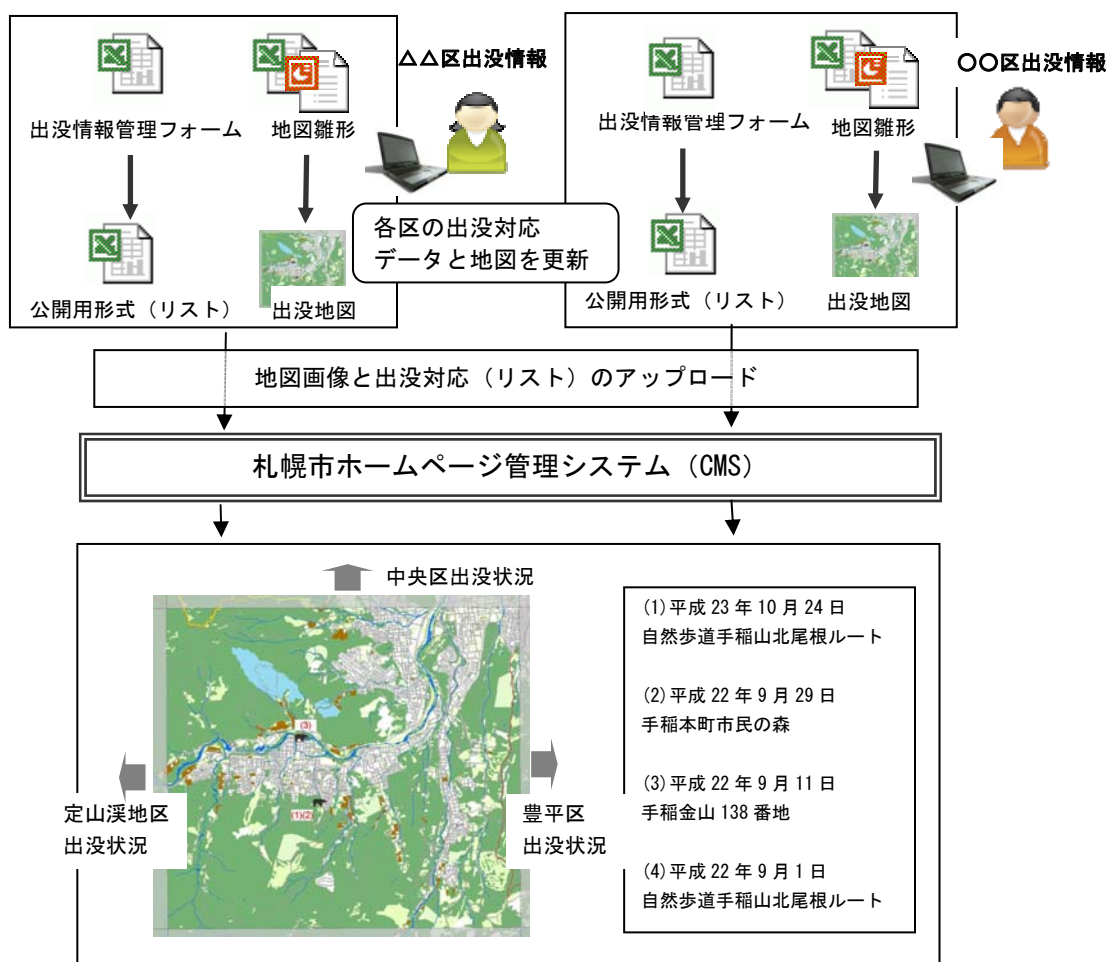


図 4-1-12 ヒグマ出没対応情報公開フロー

② 利用可能なソフトウェアアンケート調査の実施

以上の調査結果に基づき、出没情報更新ホームページの設計を行った。ヒグマ出没情報は各区担当者が行うことを前提とするため、事前に利用可能なソフトウェアのアンケート調査（ヒグマ出没対象区6と区政課）を行い、設計内容に反映させた。

表 4-1-9 利用可能なソフトウェアのアンケート調査結果

ソフトウェア名称	区数
Microsoft Excel	7
Microsoft PoerPoint	3
Adobe Photoshop	3
Adobe Illustrator	3

③ ヒグマ出没情報ホームページ更新方法の設計

利用可能なソフトウェア調査の結果も踏まえ、ヒグマ出没情報ホームページの設計を行った。

- ・過去の出没情報を管理、分析可能とするため、「出没情報管理フォーム」を作成し、出没内容入力を行う。
- ・出没情報管理フォームから関係機関への連絡フォーム、ホームページ様式への変換を可能とし、各区担当者の作業軽減を行う。
- ・出没地点地図は、地図雛形（Excel、PowerPoint、Illustrator 等）から出没地点を追記し、画像出力のうえ札幌市ホームページへアップロードする。

(3) ヒグマ出没情報公開システムの構築

① ヒグマ出没情報管理フォームの作成

Microsoft Excel 上で動作するヒグマ出没情報管理フォームプログラムを作成した(図 4-1-13 参照)。入力項目は、現行の情報共有に使用されているヒグマ出没記録・連絡表(図 4-1-14 参照)を参考に項目を設定し、各入力項目について動作確認を行った。

図 4-1-13 ヒグマ出没情報管理フォーム入力例

(様式 1) [FAX又は作内伝] 211-2123
211-2124
⇒応務課 ⇒みどりの管理課
ヒグマ出没記録・連絡票

姓	課長	係長	係	工	課長	係長	係
1 出没日時	平成 年 月 日 (曜日)		年	後	時	分	秒
2 出没場所	[別添 1/50,000 図に示す範囲]						
3 出没場所の環境	<input type="checkbox"/> 河川・沢 <input type="checkbox"/> 草原・笹原 <input type="checkbox"/> キャンプ場 <input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 市山地 <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)						
4 出没場所の見通しのよさ	<input type="checkbox"/> 見通しよい <input type="checkbox"/> 見通し悪い (見通し距離: 約 m.) <input type="checkbox"/> 不明						
5 出没場所の騒音や水音	<input type="checkbox"/> 騒音などで周囲の音が聞こえない <input type="checkbox"/> 周囲の音が聞こえる状態 <input type="checkbox"/> 不明						
6 出没の原因と考えられる誘引物	<input type="checkbox"/> 誘引物なし <input type="checkbox"/> 誘引物あり (種類:) <input type="checkbox"/> 不明						
7 出没を確認した場所	<input type="checkbox"/> 農作業 <input type="checkbox"/> 山林作業 <input type="checkbox"/> 運転 <input type="checkbox"/> 調査・測量 <input type="checkbox"/> 工事 <input type="checkbox"/> ヒグマの見回り <input type="checkbox"/> 山菜等採り <input type="checkbox"/> 登山・ハイキング <input type="checkbox"/> 釣り <input type="checkbox"/> その他の住民 <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)						
8 情報提供者	氏名:		住所:		連絡先:		

22

図 4-1-14 ヒグマ出没記録・連絡表

② ヒグマ出没地点地図の作成

ヒグマ出没対応 6 区の市街地および市街地周辺の森林域を網羅する地図を作成し、Excel、PowerPoint、Illustrator 等で出没地点を追記することで、出没地図を作成可能な地図雛形を作成した(図 4-1-15 参照)。

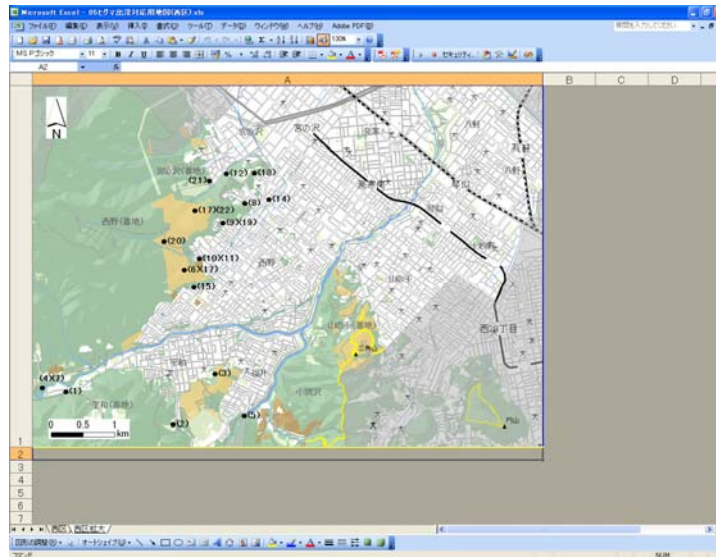


図 4-1-15 ヒグマ出没地点入力地図例

③ ヒグマ出没対応データ管理・ホームページ管理マニュアルの作成

ヒグマ出没対応の情報管理から、ホームページ更新にいたるまでの作業手順について、マニュアル(図 4-1-16 参照)を作成し、配布した。

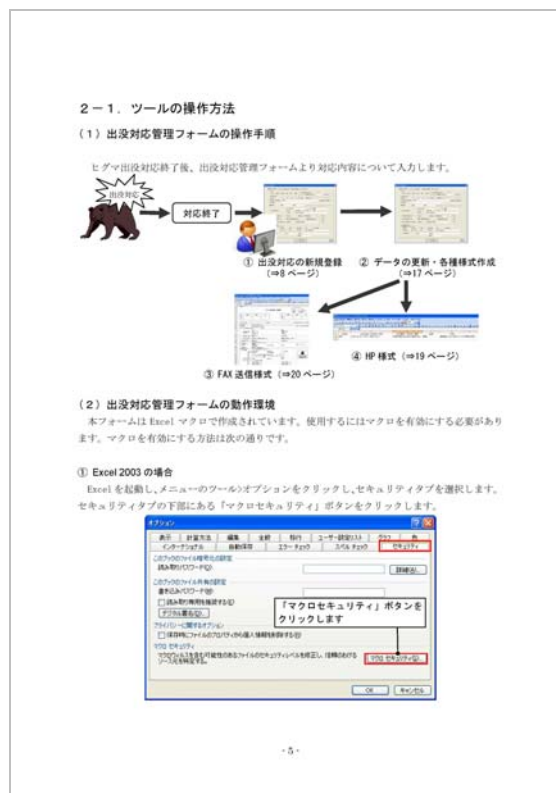


図 4-1-16 ヒグマ出没対応データ管理・ホームページ管理マニュアル記述例

(4) ヒグマ出没対応情報コンテンツ作成

平成 22 年度および平成 23 年度の札幌市公式のヒグマ出没情報を元に、出没地点および対応内容を整理し、ヒグマ出没情報のホームページコンテンツを作成した。コンテンツ形式は、今後の出没対応ホームページの運用および整合性を考慮し、出没対応の情報公開フローにのっとり、出没地点地図（図 4-1-17）および出没リスト(図 4-1-18)を作成した。

札幌市
City of Sapporo

組織案内 Foreign language 携帯サイト
文字サイズ 縮小 標準 拡大 色合いの変更 キーワードを入力 検索
救急当番医 緊急時の連絡先 避難場所 サイトマップ

ホーム 防災・防犯・消防 <暮らし・手続き> 健康・福祉・子育て 教育・文化・スポーツ 観光・産業・ビジネス 市政情報

ホーム > <暮らし・手続き> > 動物・ペット > 鳥獣(野生動物等)など > ヒグマ出没情報 > 南区 > 真駒内・川沿・南沢地区

鳥獣(野生動物等)など

- ヒグマ対策
- ヒグマ出没情報
- エゾシカ対策
- エゾシカ出没情報
- カラス被害と対策
- ハチに注意!
- 住まいの虫たち

真駒内・川沿・南沢地区

平成23年度出没地点

ヒグマの出没地点を表示しています。隣接している区などへは地図の下にあるリスト、または、地図の周りにある▲マークをクリックすることで移動することができます。()内の番号は市内全域における出没件数の年度通し番号です。

●(157) 11月16日(水曜日)19時06分頃	●(92) 10月8日(土曜日)23時16分頃
●(134) 10月31日(月曜日)5時45分頃	●(86) 10月2日(日曜日)18時40分頃と22時18分頃
●(128) 10月28日(金曜日)6時55分頃	●(50) 8月3日(水曜日)6時06分頃
●(128) 10月27日(木曜日)23時16分頃	●(48) 7月28日(水曜日)13時頃
●(127) 10月27日(木曜日)22時52分頃	●(45) 7月24日(日曜日)6時10分頃
●(126) 10月27日(木曜日)22時04分頃	●(44) 7月21日(木曜日)不明
●(125) 10月27日(木曜日)20時50分頃	●(41) 7月21日(木曜日)7時頃
●(122) 10月26日(水曜日)21時25分頃	●(37) 7月16日(土曜日)9時20分頃
●(111) 10月21日(金曜日)8時頃と8時40分頃	●(29) 6月18日(土曜日)6時30分頃
●(106) 10月20日(木曜日)6時25分頃	●(26) 6月16日(木曜日)5時30分頃
●(95) 10月12日(水曜日)16時頃	●(26) 6月15日(水曜日)6時頃

▲

● 出没地点

【全域地図】
南区全域地図へ

【隣接している区・地域へ】
石山・藤野・常盤地区 | 藻舞・豊茂地区 | 手稲区出没地図へ | 西区出没地図へ | 中央区出没地図へ | 豊平区出没地図へ | 清田区出没地図へ | 札幌市全区地図へ

図 4-1-17 ヒグマ出没地点地図（南区）

番号	日時	地区	場所	確認内容	内容
●(161)	12月14日(水) 11時頃	石山・藤野・常盤	石山577番地2付近	足跡	現場付近に注意喚起看板を1基設置した。
●(160)	11月29日(火) 不明	藤野・豊滝	小金湯625番地付近	足跡	11月29日15時30分頃、情報提供者が雪の上の足跡を発見。
●(159)	11月29日(火) 14時頃	藤野・豊滝	豊滝508番地付近	足跡	11月29日14時頃、情報提供者がクマの足跡を発見。
●(158)	11月24日(木) 8時頃	藤野・豊滝	豊滝445番地17付近、豊滝448番地9付近	足跡	11月24日8時00分頃、情報提供者が雪の上ヒゲダと思われる動物の足跡を発見。発見場所付近2箇所(1)に注意喚起看板を設置した。
●(157)	11月16日(水) 15時00分頃	真駒内・川沿・南沢	小林8丁目上付近	目撃	11月16日15時00分頃、情報提供者が道路を横断する2頭のクマを目撃。目撃現場付近1箇所(1)に注意喚起看板を設置した。

図 4-1-18 ヒグマ出没地点地図（南区）

(5) ヒグマ対策コンテンツ作成

市民がヒグマに対し正しい知識を持ち、事故を未然に回避すること目的に、ホームページコンテンツを構成し内容を作成した（表 4-1-10）。

表 4-1-10 ヒグマ対策のページコンテンツ構成

大項目	内容
ヒグマ出没情報	過去の出没情報について、各区ごとに対応内容および地図のページを作成した。
ヒグマの生態・行動習性	ヒグマの基本的な生態について、多くの市民が理解しやすいよう、イラスト等を使用し、簡潔かつ平易に記述した（図 4-1-19 参照）。
ヒグマに遭わないために	ヒグマに遭わないために、また、万が一遭遇してしまったときに冷静に対処できる方法を簡潔かつ平易に記述した。また多くの市民が親しみやすいよう、イラスト等を作成し使用した（図 4-1-20 参照）。
痕跡の見分け方	足跡、フンの見分け方について紛らわしい痕跡と区別できるように、写真等を数多く使用し解説するコンテンツを作成した（図 4-1-21 参照）。
札幌市の取り組み	過去に札幌市で取り組まれたヒグマ対策資料について、再整理のうえコンテンツを作成した。
啓発活動用素材集	市民や普及啓発活動を行う学校、NPO 等を対象として、普及啓発用素材（パンフレット等）を提供するコンテンツを作成した（図 4-1-22 参照）。

札幌市 City of Sapporo

文字サイズ 最小 標準 拡大 色合いの変更 キーワードを入力 検索

救急当番表 緊急時の連絡先 避難場所 サイトマップ

ホーム 防災・防犯・消防 暮らし・手続き 健康・福祉・子育て 教育・文化・スポーツ 観光・産業・ビジネス 市政情報

ホーム > 暮らし・手続き > 動物・ペット > 鳥獣(野生動物等)など > ヒグマ対策 > ヒグマの生態・行動習性

鳥獣(野生動物等)など

- ヒグマ対策
- ヒグマ出没情報
- エゾシカ対策
- エゾシカ出没情報
- カラス被害と対策
- ハドリ注意！
- 住まいの虫たち

ヒグマの生態・行動習性

野生動物やヒグマと正しく付き合っていくためには、まず「相手を知ること」が大切です。誤解も多く、わかっているようでわかっていないヒグマの事を知らしましょう。

ヒグマの分布

ヒグマの生息地
石狩西部のヒグマ個体群の生息地

ヒグマは、世界では北半球に広く分布し、さまざまな自然環境に生息しています。日本では北海道にのみ生息しており、国内では最も大きな陸上動物です。
また、石狩西部のヒグマ個体群は環境省レッドリストで「絶滅のおそれのある地域個体群」に指定されています。

環境省レッドリストとは？
野生動物の保全のためには、絶滅のおそれのある種を的確に把握し、一般への理解を促す必要があることから、環境省ではリストを作成・公表している。このリストのことをレッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生動物の種のリスト)という。

ページの先頭へ戻る

体の大きさ

体長

- オス：約 0 m
- メス：約 1.5 m

体重

- オス：約 150 ～ 400 kg
- メス：約 100 ～ 200 kg

※産まれてすぐは 400 g くらい

ページの先頭へ戻る

図 4-1-19 「ヒグマの生態・行動習性」のページ

札幌市 City of Sapporo

文字サイズ 最小 標準 拡大 色合いの変更 キーワードを入力 検索

救急当番表 緊急時の連絡先 避難場所 サイトマップ

ホーム 防災・防犯・消防 暮らし・手続き 健康・福祉・子育て 教育・文化・スポーツ 観光・産業・ビジネス 市政情報

ホーム > 暮らし・手続き > 動物・ペット > 鳥獣(野生動物等)など > ヒグマ対策 > ヒグマに遭わないために

鳥獣(野生動物等)など

- ヒグマ対策
- ヒグマ出没情報
- エゾシカ対策
- エゾシカ出没情報
- カラス被害と対策
- ハドリ注意！
- 住まいの虫たち

ヒグマに遭わないために

ヒグマに遭わないための対策、ヒグマを寄せ付けないための対策、ヒグマに出遭ってしまった時の対応方法を知り、ヒグマとの事故を防ぎましょう。

野外活動での対策

野外活動でヒグマの生息地に入ると、ヒグマと遭遇する確立が高くなります。ヒグマに遭遇する確立を下げるための方法を学習しておきましょう。

事前に情報収集をする

事前に、各区のホームページなどからヒグマの出没情報を収集し、出発している場所には近づかないよう引いてください。

生態や食性を知る

ヒグマの生態や食性を知り、ヒグマの出没する可能性が高い時期、時間、場所には近づかないよう引いてください。

自分の存在を知らせる

野山へ出かけるときは、大きな音の出る鈴やホイッスルを鳴らし、自分の存在をヒグマに知らせましょう。多くの場合、ヒグマが気づいて立ち去ってくれます。また、大きな声を出すだけでなく効果があります。

痕跡を見つけたら引き返す

新しいフンや足跡、食痕、爪痕などの痕跡を見つけたら、すみやかに引き返しましょう。

熊鈴の見分け方のページへ移動する

携帯しましょう！

野外活動でヒグマの生息地に行く人は、クマ撃退スプレーや鈴、ホイッスルなどを携帯してください。

図 4-1-20 「ヒグマに遭わないために」のページ



図 4-1-21 「痕跡の見分け方（ヒグマの足あと・フンの見分け方）」のページ



図 4-1-22 「普及啓発素材集」のページ

4-2 エゾシカリーフレットの配布先の検討と配布

市街地においてエゾシカが出没している実態を広く周知し、市街地で出没した場合の対応を市民に啓発するため、リーフレットを配布する。普及啓発に有効な配布先を検討し、リーフレットを配布した。

4-2-1 配布先および配布数

平成22年度札幌市で制作されたリーフレット草稿を見直し、最終原稿を作成した。

札幌市が印刷したリーフレットの配布先および配布数の概要は以下のとおりである。(配布先の詳細は資料編を参照)。

リーフレット配布先として、札幌市本庁および区役所、公園や自然系教育施設、交通事故対策として、運転免許センターやバス、トラック、レンタカーの関連施設も配布先とした。

また、本事業で実施した市民向けヒグマ講座(9月以降に開催されたもの)においても、参加者へリーフレットを配布し、周知を図った。

表 4-2-1 エゾシカリーフレットの配布先と配布数

区分	施設概要 ()内の数字は配布数	数 (計)
札幌市役所・区役所	本庁舎 (200)・区役所 10ヶ所 (各 50)	700
札幌市関連施設	区民センター10ヶ所 (各 50)・地区センター・コミュニティセンター27ヶ所 (各 30)	1,310
札幌市内公園施設	札幌市内公園施設 51ヶ所 (各 20)・円山動物園 (100)	1,230
札幌市自然系施設	ふれあいの森・定山溪自然の家・青少年山の家 (各 30)	90
交通関連施設	道路情報館・運転免許センター・札幌トラックステーション (各 50)	150
交通関連団体	北海道交通安全協会・日本交通安全教育普及協会・北海道交通安全推進委員会 (各 30)・NEXCO 東日本・札幌レンタカー協会・北海道バス協会・北海道トラック協会 (各 50)・北海道開発技術センター (10)	300
ヒグマ講座	中央区 (40)・清田区 (20)・豊平区 (40)・西区 (71)	171
合計		3,951

4-2-2 今後の配布について

市街地へのエゾシカ出没状況やその対応については、前章で記したホームページに掲載し市民への普及啓発を図ることになるが、インターネットを使用しない市民への普及として、今後も紙媒体による広報は必要と考えられる。数年に一度、リーフレットの内容を見直し、必要に応じて改定増刷して、配布していくことが望まれる。

4-3 エゾシカに関するラジオスポットCMの放送

市街地におけるエゾシカ出没の周知、エゾシカとの交通事故防止を図るため、ラジオスポットCM（コマーシャル）による広告を実施した。

4-3-1 周知対象と放送時期

(1) 周知対象

周知対象は、札幌市内の在住者、札幌市周辺を走行するドライバーとした。ドライバーは、車による通勤者、および運送業者やタクシー等の日常的に運転するプロドライバーが想定された。

スポットCMは、通勤ドライバーや業務車両ドライバーの視聴率が高いAM放送局（札幌圏域）及び地域密着型のコミュニティFM局により放送した。

(2) 放送時期

平成21～22年度の札幌市街地における出没対応件数では7月が最多であったが、札幌市内エゾシカ交通事故件数では10月が最多となっている。道内の一般的なエゾシカ交通事故件数としては、春（4月）と秋（10～11月）に多い傾向にある（図4-3-1）。

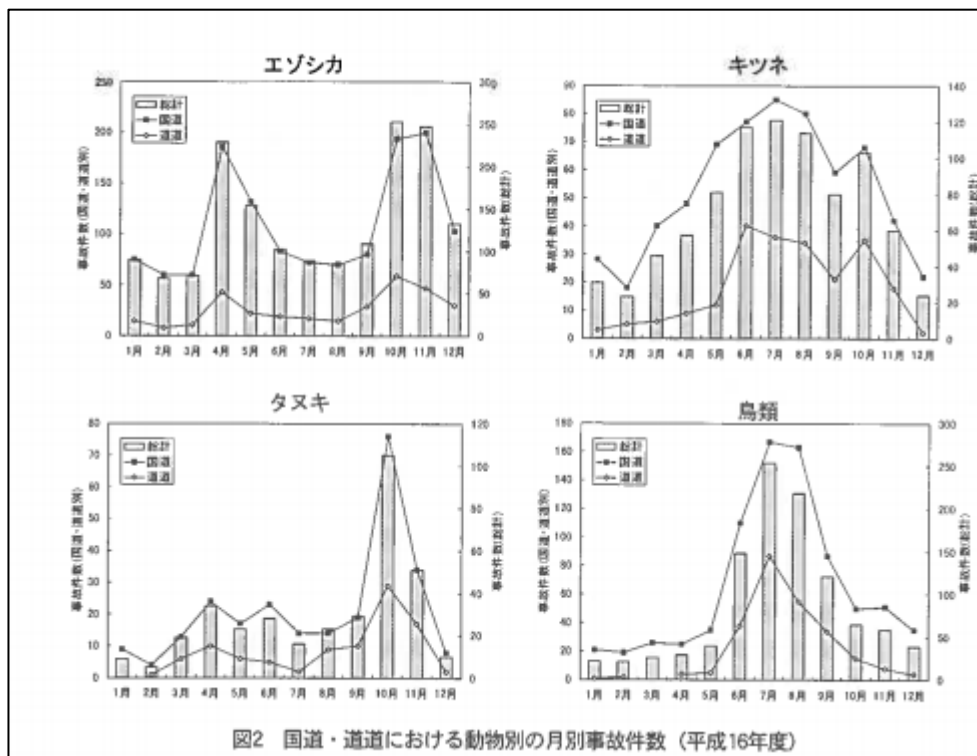


図4-3-1 国道・道道における動物別の月別事故件数（平成16年度）

「野生物と交通」研究発表会講演論文集 Vol.6 p75 より

放送期間は、エゾシカ交通事故の注意喚起に主眼を置き、エゾシカとの交通事故が増えはじめる9月下旬から10月上旬とした。

放送時間帯は午前と午後の1日2回以上として、同じ放送局、同じ時間帯に繰り返し放送することによる聴取者（リスナー）への高い刷り込み効果を期待した。また、札幌市民による口コミを期待し、主婦や学生に固定ファンが定着しているコミュニティFM放送局からも放送した。

4-3-2 放送内容と結果

(1) 放送内容

スポットCMは、20秒および30秒のものを制作した。CMメッセージは、以下を伝える内容とした。

- ・札幌市内の市街地においてエゾシカ出没していること
- ・運転中にシカを見かけたら、減速すること
- ・夜間は特に注意が必要なこと

20秒CMおよび30秒CMの原稿は以下のとおりである。

【20秒CM原稿】

札幌市からのお知らせです。
ここ数年、街中にエゾシカが出没しています。
住宅地や道路に突然現れることがあり、
人も車も、注意が必要です。
シカを見つけたら、クールダウン。
あわてず、騒がず、近づかず。
ドライバーは、特に、夜、注意してください。
札幌市からのお知らせでした。

【30秒CM原稿】

札幌市からのお知らせです。
ここ数年、街中にエゾシカが出没しています。
住宅地や道路に突然現れることがあり、
人も車も、注意が必要です。
西区では、昨年、住宅地で、
エゾシカが保護されました。
エゾシカを見つけたら、人も車もクールダウン。
あわてず、騒がず、近づかず。
ドライバーは、特に、夜、注意してください。
札幌市からのお知らせでした。

(2) 放送結果

スポットCMは、AM放送局1局、コミュニティFM2局において、合計78回放送した（表4-3-1）。このほか、放送局のパブリシティは13回放送された（表4-3-2）。

スポットCMは、AM放送では朝、夕方の1日2回平日のみ10日間放送した。札幌市内のコミュニティFM2局のうち、1局は午前、午後の1日2回を週末含む14日間、もう1局は1日3回を平日のみ10日間放送した。

パブリシティでは、AM局からは60秒コメント1回、コミュニティFM局からは2局から

出演枠、さらに、コミュニティ FM1 局からは 1 日 1 回 5 分間で 10 日間のコメント枠が提供された（表 4-3-2）。なお、2 回の出演枠については、札幌市および当団体の各担当者 1 名ずつ計 2 名が出演し、札幌市内におけるエゾシカの出没状況等について話した。

表 4-3-1 スポット CM 放送一覧

	放送局	放送期間	放送時間帯	本数	合計本数
1	HBC ラジオ	平成 23 年 9 月 26 日(月) ～10 月 7 日(金)	月～金 8:49	10	20
			月～金 15:59	10	
2	FM アップル	平成 23 年 9 月 26 日(月) ～10 月 9 日(日)	月～日 9:00～12:00	14	28
			月～日 17:00～19:00	14	
3	三角山放送局	平成 23 年 9 月 26 日(月) ～10 月 7 日(金)	月～金 7:00～9:00	10	30
			月～金 10:00～12:00	10	
			月～金 15:00～17:00	10	

※HBC ラジオおよび FM アップルは 20 秒 CM、三角山放送局は 30 秒の CM を放送した。

表 4-3-2 パブリシティ放送一覧

	放送局	放送日	放送時間帯	時間	回数	備考
1	HBC ラジオ	平成 23 年 9 月 26 日(月) 「ちよいナビ」内	11:55～12:00	60 秒	1	コメント 読み
2	FM アップル	平成 23 年 10 月 4 日(火) 「Apple Plus」内コーナー	10:30～11:00	30 分	1	生出演
3	三角山放送局	平成 23 年 10 月 4 日(火) 「まちめぐりひとめぐり」	18:00～19:00	60 分	1	生出演
4	三角山放送局	平成 23 年 9 月 26 日(月) ～10 月 7 日(金)の平日の 1 日 1 回	9:00 台 ～16:00 台	5 分	10	コメント 読み

※パブリシティ：スポット CM の広告とは別に提供する広報（放送局側の便宜で時間枠が設定される）

パブリシティで各局のアナウンサーが読み上げたコメント原稿を以下に示した。

表 4-3-3 パブリシティコメント原稿 その 1

パブリシティ	コメント原稿
60 秒 (HBC)	<p>札幌市からののお知らせです。 札幌のまちなかに、エゾシカが出てくることをご存知ですか？ その数は、1 年間に 30 件を超えることもあります。 住宅地や道路に突然あらわれることがあり、 車とエゾシカの交通事故も発生しています。 エゾシカを見つけたら、 大きな音をたてたり、近づいたりしないでください。 静かに、その場を立ち去るか、様子を見守りましょう。 また、ドライバーはスピードダウンを心がけてください。 これからの季節はエゾシカの繁殖期となり、行動が活発になります。 日没も早くなり、見通しのきかない時間が長くなります。 山間部はもちろん、林のある川辺や公園などにもいます。 エゾシカは交通ルールを知りません。 日ごろのこころがけで、エゾシカとの事故を防ぎましょう。 札幌市からののお知らせでした。</p>

表 4-3-4 パブリシティコメント原稿 その2

パブリシティ	コメント原稿
5分 (三角山放送局)	<p>札幌市から、エゾシカについてのお知らせです。 皆さんは、札幌のまちなかにエゾシカが出てくることをご存知でしょうか？ その数は、1年間に30件を超えることもあります。 昨年度、最も多く出沒したのは、清田区でした。 西区や清田区、南区は、近くに山や森などがあるので、 エゾシカが出て、あまり不思議に感じないかもしれません。 ところが、近くに大きな山や森がない地域にも出沒することがあります。 エゾシカたちは、山や森の代わりに、大きな公園や川、農地や林などを利用して、 まちなかに移動してきているようです。 まちなかを移動しているエゾシカが道路にあらわれると 車との交通事故が起きることがあります。 道路にいるエゾシカは、野山を駆け回るように素早く動けません。 舗装した道路では、ヒツメが滑りやすいので、エゾシカの動作は鈍くなります。 ドライバーのみなさんは、車が近づけば、エゾシカが気づいて、素早く立ち去る だろうと思わずスピードをおとしてください。 また、エゾシカは、群れで行動する習性があるので、 一頭が道路に飛び出してきたら、続けて飛び出してくることがあります。 飛び出してきて、突然、立ち止まったりすることがあるので、注意が必要です。 夜間は、エゾシカを見つけにくくなります。 道路上や道路脇で、青白く光る小さな点を見つけたら、 それは、エゾシカなどの動物の目に反射した光かもしれません。 反射する小さな光を見つけたら、スピードを控えめにしましょう。 これからの季節はエゾシカの繁殖期となり、行動が活発になります。 日没も早くなり、見通しのきかない時間が長くなります。 夜間の運転は、特に注意してください。 車に乗っていないときに、エゾシカを見つけたら、大きな音をたてたり、近づい たりしないでください。 静かに、その場を立ち去るか、様子を見守りましょう。 エゾシカは交通ルールを知りません。 日ごろからのこころがけで、エゾシカとの交通事故を防ぎましょう。 札幌市からのお知らせでした。</p>

4-3-3 今後に向けて

ラジオによる広告は、インターネットやリーフレットの媒体と比較して、短時間での周知効果は期待できるがコストが高いという問題がある。ただし、ドライバーへの周知効果が期待できるというラジオの特性から、エゾシカとの交通事故が増加する秋～冬のCM放送は、ドライバーへの注意喚起に有効であると考えられる。

4-4 市民向けヒグマ講座および農家向け被害防除の講座開催

ヒグマとの突然の遭遇による事故や家庭菜園等における被害を防ぐため、ヒグマに関する基礎的な知識、対処法の周知を図ることを目的としてヒグマ講座を実施した。

4-4-1 ヒグマ講座の開催・運営

(1) ヒグマ講座の企画

ヒグマ講座の開催にあたっては、ヒグマ出没地域の6つの区（南区、清田区、豊平区、中央区、西区、手稲区）の担当者と協議して企画内容を決定した。協議の結果、本年度は市民向けヒグマ講座を中心に実施することとなり、町内会、学校関係者および児童、一般市民を対象に行った。対象や開催期日、広報手法等を各区の担当者と打合せ、広報および参加対象機関との調整を各区担当者が行い、講座内容の企画、運営を当事務所が行った。

(2) ヒグマ講座の開催結果

ヒグマ講座は、7月下旬から11月上旬にかけて合計8回開催した(表4-4-1)。対象の内訳は、学校関係者2回、一般区民(市民)1回、町内会関係者1回、町内会と児童の合同開催1回、一般区民(市民)と町内会関係者の合同開催1回、公園利用者および周辺住民を対象にして1回、小学校児童1回、であった。

なお、各回の参加者へは図4-4-1のヒグマ注意喚起チラシを配布し、ヒグマに関して知っておくべき知識の普及の一助とした。

表 4-4-1 ヒグマ講座開催結果

区	開催日	時間帯	場所	対象・参加者	参加者数・内訳
南	7月21日 (木)	15:30~17:00	南区役所会議室	南区内の小中学校管理職・教諭	24人
手稲	7月26日 (火)	18:30~20:00	手稲区民ホール 大会議	広報さっぽろによる公募 区民	49人 50~70代が主
南	7月28日 (木)	18:00~19:30	南区役所会議室	藻岩、石山、芸術の森、藤 野、簾舞、定山溪の町内会 役員	24人 60~70代が主
中央	9月15日 (木)	9:30~11:30	円山動物園 動物科学館 バックヤード(ヒグマ飼育舎) エゾヒグマ館 エゾシカ・オオカミ舎	大倉山小(4年生2クラス) 荒井山、宮の森こぶし、円山 西町、上盤溪、盤溪下町の 町内会	町内会 15人 小学4年生69人
清田	9月27日 (火)	18:30~20:00	清田区民センター 集会場2-3	広報さっぽろによる公募区 民 有明地区町内会	一般公募 5人 町内会等 14人
豊平	10月15日 (土)	1回目10:30~11:00 2回目11:30~12:00 3回目13:30~14:00	西岡公園管理事務所	西岡公園利用者 西岡公園近隣町内会	1回目 おとな15人小学生1人 2回目 おとな11人小学生2人 3回目 おとな16人
西	10月28日 (金)	15:00~16:30	宮丘小学校視聴覚室	宮丘小学校児童の保護者・ PTA・近隣町内会	おとな44人、子ども4人
西	11月2日 (水)	全校朝礼 9:20~9:50	西野第二小学校体育館	西野第二小学校(児童)、教 職員	約800人 全校児童789人ほか教職員

4-4-2 ヒグマ講座の開催内容とその検証

開催したヒグマ講座の各回の概要と、開催効果の検証等のために行ったアンケート調査の結果を(1)～(8)に示した。なお、各回のアンケート調査方法は以下に示した。

【ヒグマ講座概要】

講座の内容は、各回とも以下の3つのテーマを設定した。

- ヒグマはどこにいるか？
- ヒグマはどんな動物か？ からだ、ライフサイクル、食性、行動圏、行動習性等
- ヒグマとの事故を防ぐには？

なお、参加者へは毎回ヒグマ注意喚起のチラシ(図4-4-1)を配布した。

ヒグマ講座では、スライドによる説明のほか、写真あわせなどのクイズの導入、毛皮などの実物に触れる機会をつくるなど、参加体験型の内容となるように留意した。

なお、中央区のヒグマ講座は、円山動物園を会場として、飼育員や獣医師等の動物園スタッフとの協働体制で実施した。

【アンケート調査概要】

■ 調査方法

参加者の講座の効果検証や普及啓発の情報媒体等の参考とするため、アンケートを実施した。調査は、ヒグマ講座参加者にアンケート調査票を配布し、講座終了後に回答をお願いし、回収した。各回の調査票は図4-4-2～図4-4-6に示した。

■ 調査項目

ヒグマ講座参加者は、年齢や職業等、各回によって異なるため、アンケートの調査票を児童用、大人用に2タイプ作成した。なお、児童のアンケート対象は4年生以上とした。

アンケート内容として、以下の項目を設定した。

- 回答者の属性：居住地、年代、森林散策や山菜取り等に出かける頻度
- ヒグマ出没箇所の認識度：住宅地に近い山林にもヒグマが出没することの認識の有無
- 出没情報の情報源・入手先：出没情報を得ている媒体(テレビ、インターネット、人、回覧板、現地看板等)
- 講座による新たな知識習得の有無：ヒグマの習性や事故にあわないための方法等で、新たな知見習得の有無
- ヒグマの習性や安全対策に関する情報を得る場合に希望する媒体：インターネット、研修会、解説板、新聞やテレビの特集、広報さっぽろの特集、パンフレット、町内会回覧板、雑誌・書籍、その他
- ヒグマ講座に関する感想、意見、要望等

児童用アンケートについては、以下の項目を設定した。

- ヒグマ出没箇所の認識度：札幌市内におけるヒグマの生息、および住宅地や公園、学校の近い山林にヒグマが出没することの認識の有無
- 出没情報の情報源・入手先
- ヒグマ講座のなかでおもしろかった話、内容、もしくは新たに知ったこと
- 感想

北海道内・札幌市内の山(森林)にはヒグマが生息しています。

ヒグマとの事故を避けるためには
ヒグマと出会わないようにすることです。

○ 野山へ出かけるときは、その地域のヒグマ出没情報を調べましょう。

○ 野山へ入るときは、

・クマ鈴やホイッスル鳴らす、手をたたくなど、音を出して、ヒグマに人がいることを知らせます。ひとりではなく、数人で話しながら歩くのも有効です。

・ヒグマと思われる足跡やフンを見つけたら、引き返しましょう。

・もし、仔グマを見かけた場合は、近くに母グマがいます。すぐに引き返しましょう。

・食料やゴミは、必ず持ち帰りましょう。ヒグマが人の食料の味を覚えると、その食料を目的に繰り返し出てきます。

○ もし出会ってしまったら

走らない → ヒグマは走っているものを追いかけてきます。

騒がない → 多くの場合、ヒグマが先に去っていきます。

ゆっくり静かにその場を立ち去ります。



←ヒグマの足あと(前足)

5本の指と爪跡、掌がついています。

ヒグマのフン→

草本を食べたフンで20cm四方もあります。
草本の匂いがして、意外と臭くありません。



【ヒグマ出没情報掲載URL】

札幌市内のヒグマ出没情報：<http://www.city.sapporo.jp/city/kuma/index.html>

南区のヒグマ出没情報：<http://www.city.sapporo.jp/minami/kuma/index.html>

図 4-4-1 ヒグマ講座で配布したヒグマ注意喚起チラシ

南区ヒグマ講座(学校関係者向) アンケート調査票

ヒグマ講座 - アンケート -

本日は、ヒグマ講座にご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただくため、アンケートのご協力をお願いします。

あなたご自身について、あてはまるものにひとつをつけてください。
お住まい：1)南区 2)中央区 3)西区 4)手稲区 5)清田区 6)豊平区 7)厚別区 8)白石区 9)東区
10)北区 11)市外(市町村名：.....)

年代：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

1. 札幌市内では、住宅地に近い森林などにヒグマが出没していますが、このことをご存知でしたか？
あてはまるものにひとつをつけてください。
(1) ヒグマの出没は知ってはいしたが、住宅地に近い森林にも出没していることは知らなかった
(2) 住宅地に近い森林にヒグマが出没していることは、だいたい把握していた
(3) 札幌市内にヒグマが出没していることは、今回のヒグマ講座で初めて知った
(4) その他：
(.....)

2. ヒグマの出没については、これまで、何によって知りましたか？
あてはまるものに、いくつでもOをつけてください。
(1) 新聞 (2) テレビ (3) ラジオ
(4) インターネット (5) 町内会の回覧板 (6) 区役所等で配布されるパンフレット
(7) 職場を通じて (8) 知人・友人から (9) 現場の看板で
(10) 忘れて・わからない
(11) その他：
(.....)

3. 今日のヒグマ講座で、ヒグマの生態や習性、事故にあわないための方法などで、新しく知ったことがありましたか？ あてはまるものにひとつをつけてください。
(1) あった (2) なかった (3) その他 (.....)
→ (1)にOをつけた方へ 新しく知ったことをひとつお聞かせください。
(.....)
(.....)

4. ヒグマの生態や習性、安全対策などについて知るために、どの媒体・手法を希望されますか？
あてはまるもの3つまでOをつけてください。
(1) インターネット (2) 今回のような講座・研修会 (3) 出没地等の解説板
(4) 新聞やテレビなどの特集 (5) 広報さっぽろの特集 (7) パンフレット
(8) 町内会の回覧板 (9) 雑誌・書籍
(10) その他：
(.....)

5. 本日のヒグマ講座に参加しての感想やご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。
.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

手稲山ヒグマ講座 アンケート調査票

手稲山のヒグマ講座 - アンケート -

本日は、手稲山のヒグマ講座にご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただくため、アンケートのご協力をお願いします。

あなたご自身について、あてはまるものにひとつをつけてください。
お住まい：1)手稲区内 2)手稲区外(.....区) 3)市外(市町村名：.....)

年代：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

森林散策・山菜取り等に出かける頻度：
1)年間数回程度 2)月1回程度 3)月に2~3回程度 4)週1回程度
5)山や森林散策へは、ほとんど出かける
6)その他：(.....)

1. 札幌市内では、手稲山などの山間部のほか、住宅地に近い森林にもヒグマが出没しています。このことをご存知でしたか？ あてはまるものに、ひとつOをつけてください。
(1) ヒグマの出没は知ってはいしたが、住宅地に近い森林にも出没していることは知らなかった
(2) 住宅地に近い森林にヒグマが出没していることは、だいたい把握していた
(3) 札幌市内にヒグマが出没していることは、今回のヒグマ講座で初めて知った
(4) その他：
(.....)

2. 札幌市内のヒグマの出没については、これまで、何によって知りましたか？
あてはまるものに、いくつでもOをつけてください。
(1) 新聞 (2) テレビ (3) ラジオ
(4) インターネット (5) 町内会の回覧板 (6) 区役所等で配布されるパンフレット
(7) 職場を通じて (8) 知人・友人から (9) 現場の看板で
(10) 忘れて・わからない
(11) その他：(.....)

3. 今日のヒグマ講座で、ヒグマの生態や習性、事故にあわないための方法などで、新しく知ったことがありましたか？ あてはまるものにひとつOをつけてください。
(1) あった (2) なかった (3) その他 (.....)
→ (1)にOをつけた方へ 新しく知ったことをひとつお聞かせください。
(.....)
(.....)

4. ヒグマの生態や習性、安全対策などについて知るために、どの媒体・手法を希望されますか？
あてはまるもの3つまでOをつけてください
(1) インターネット (2) 今回のような講座・研修会 (3) 出没地等の解説板
(4) 新聞やテレビなどの特集 (5) 広報さっぽろの特集 (7) パンフレット
(8) 町内会の回覧板 (9) 雑誌・書籍
(10) その他：
(.....)

5. 本日のヒグマ講座に参加しての感想やご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。
.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

図 4-4-2 ヒグマ講座アンケート調査票 1/5

南区ヒグマ講座(町内会向) アンケート調査票

ヒグマ講座 - アンケート -

本日は、ヒグマ講座にご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただくため、アンケートのご協力をお願いします。

あなたご自身について、あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

- お住まい：1) 蒸岩地区 2) 石山地区 3) 芸術の森地区 4) 藤野地区
5) 鎌舞地区 6) 定山渓地区 5) その他(.....)
- 年代：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代
- 森林散策・山菜取り等に出かける頻度：
1) 年間数回程度 2) 月1回程度 3) 月に2~3回程度 4) 週1回程度
5) 山や森林散策へは、ほとんど出かける
6) その他：(.....)

1. 札幌市内では、山間部のほか、住宅地に近い森林にもヒグマが出没しています。このことをご存知でしたか？ あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。
- (1) ヒグマの出没は知ってはいしたが、住宅地に近い森林にも出没していることは知らなかった
 - (2) 住宅地に近い森林にヒグマが出没していることは、だいたい把握していた
 - (3) 札幌市内にヒグマが出没していることは、今回のヒグマ講座で初めて知った
 - (4) その他：(.....)

2. 札幌市内のヒグマの出没については、これまで、何によって知りましたか？ あてはまるものに、いくつでも〇をつけてください。
- (1) 新聞 (2) テレビ (3) ラジオ
 - (4) インターネット (5) 町内会の回覧板 (6) 区役所等で配布されるパンフレット
 - (7) 職場を通じて (8) 知人・友人から (9) 現場の看板で
 - (10) 忘れた・わからない
 - (11) その他：(.....)

3. 今日のヒグマ講座で、ヒグマの生態や習性、事故にあわないための方法などで、新しく知ったことがありますか？ あてはまるものにひとつ〇をつけてください。
- (1) あった (2) なかった (3) その他(.....)
 - (1)に〇をつけた方へ 新しく知ったことをひとつお聞かせください。
(.....)
(.....)

4. ヒグマの生態や習性、安全対策などについて知るために、どの媒体・手法を希望されますか？ あてはまるもの3つまで〇をつけてください
- (1) インターネット (2) 今回のような講座・研修会 (3) 出沒地等の解説板
 - (4) 新聞やテレビなどの特集 (5) 広報さっぽろの特集 (7) パンフレット
 - (8) 町内会の回覧板 (9) 雑誌・書籍
 - (10) その他：(.....)

5. 本日のヒグマ講座に参加しての感想やご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

中央区ヒグマ講座(町内会向) アンケート調査票

ヒグマ講座 - アンケート -

本日は、ヒグマ講座にご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただくため、アンケートのご協力をお願いします。

あなたご自身について、あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

- お住まい：1)宮の森大倉山連合町内会 2)円山西町町内会 3)上盤溪町内会 4)宮の森中央町内会
5)宮の森こぶし自治会 6)荒井山町町内会 7)その他(町内会)
- 年代：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代
- 森林散策・山菜取り等に出かける頻度：
1)年間数回程度 2)月1回程度 3)月に2~3回程度 4)週1回程度
5)山や森林散策へは、ほとんど出かける
6)その他：(.....)

1. 札幌市内では、山間部のほか、住宅地に近い森林にもヒグマが出没しています。このことをご存知でしたか？ あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。
- (1) ヒグマの出没は知ってはいしたが、住宅地に近い森林にも出没していることは知らなかった
 - (2) 住宅地に近い森林にヒグマが出没していることは、だいたい把握していた
 - (3) 札幌市内にヒグマが出没していることは、今回のヒグマ講座で初めて知った
 - (4) その他：(.....)

2. 札幌市内のヒグマの出没については、これまで、何によって知りましたか？ あてはまるものに、いくつでも〇をつけてください。
- (1) 新聞 (2) テレビ (3) ラジオ
 - (4) インターネット (5) 町内会の回覧板 (6) 区役所等で配布されるパンフレット
 - (7) 職場を通じて (8) 知人・友人から (9) 現場の看板で
 - (10) 忘れた・わからない
 - (11) その他：(.....)

3. 今日のヒグマ講座で、ヒグマの生態や習性、事故にあわないための方法などで、新しく知ったことがありますか？ あてはまるものにひとつ〇をつけてください。
- (1) あった (2) なかった (3) その他(.....)
 - (1)に〇をつけた方へ 新しく知ったことをひとつお聞かせください。
(.....)
(.....)

4. ヒグマの生態や習性、安全対策などについて知るために、どの媒体・手法を希望されますか？ あてはまるもの3つまで〇をつけてください
- (1) インターネット (2) 今回のような講座・研修会 (3) 出沒地等の解説板
 - (4) 新聞やテレビなどの特集 (5) 広報さっぽろの特集 (7) パンフレット
 - (8) 町内会の回覧板 (9) 雑誌・書籍
 - (10) その他：(.....)

5. 本日のヒグマ講座に参加しての感想やご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

図 4-4-3 ヒグマ講座アンケート調査票 2/5

中央区ヒグマ講座(ヒグマ教室) 児童用アンケート調査票

ヒグマ講座 — アンケート —

本日は、ヒグマ講座にご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただくため、アンケートのご協力をお願いします。

あなたご自身について、あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

■お住まい：1)清田区内 2)清田区外(区) 3)市外(市町村名：)

■年代：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

■森林散策・山菜取り等に出かける頻度：
1)年間数回程度 2)月1回程度 3)月に2~3回程度 4)週1回程度
5)山や森林散策へは、ほとんど出かける
6)その他：(.....)

1. 札幌市内では、山間部のほか、住宅地に近い森林にもヒグマが出没しています。このことをご存知でしたか？ あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。
(1) ヒグマの出没は知ってはいたが、住宅地に近い森林にも出没していることは知らなかった
(2) 住宅地に近い森林にヒグマが出没していることは、だいたい把握していた
(3) 札幌市内にヒグマが出没していることは、今回のヒグマ講座で初めて知った
(4) その他：(.....)

2. 札幌市内のヒグマの出没については、これまで、何によって知りましたか？
あてはまるものに、いくつでも〇をつけてください。
(1) 新聞 (2) テレビ (3) ラジオ
(4) インターネット (5) 町内会の回覧板 (6) 区役所等で配布されるパンフレット
(7) 職場を通じて (8) 知人・友人から (9) 現場の看板で
(10) 忘れた・わからない
(11) その他：(.....)

3. 今日のヒグマ講座で、ヒグマの生態や習性、事故にあわないための方法などで、新しく知ったことがありますか？ あてはまるものにひとつ〇をつけてください。
(1) あった (2) なかった (3) その他()
→ (1)に〇をつけた方へ、新しく知ったことをひとつお聞かせください。
(.....)
(.....)

4. ヒグマの生態や習性、安全対策などについて知るために、どの媒体・手法を希望されますか？
あてはまるもの3つまで〇をつけてください
(1) インターネット (2) 今回のような講座・研修会 (3) 出沒地等の解説板
(4) 新聞やテレビなどの特集 (5) 広報さっぽろの特集 (6) パンフレット
(7) 町内会の回覧板 (8) 雑誌・書籍
(9) その他：(.....)

5. 本日のヒグマ講座に参加しての感想やご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。
.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

清田区ヒグマ講座(清田区民向) アンケート調査票

ヒグマ教室 — アンケート —

今日の円山動物園でのヒグマ教室について、おたずねします。

あなた自身について、あてはまるものに〇をつけてください。
性別： (男子 ・ 女子)
クラス： (4年1組 ・ 4年2組)

1. ヒグマが、札幌市内の山のなかに暮らしていることを知っていましたか？
あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。
(1) 知っていた。
(2) きょうのヒグマ教室で、はじめて知った。

2. 大倉山小学校の近くにヒグマが出てきていることを知っていましたか？
あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。
(1) 知っていた。
(2) きょうのヒグマ教室で、はじめて知った。

(1)に〇をつけた人に質問します。
大倉山小学校の近くにヒグマが出てきていることをどうやって知りましたか？
あてはまるものに、いくつでも〇をつけてください。
(1) 学校の先生から聞いた (2) 家族から聞いた (3) 友だちから聞いた
(4) 家族や学校以外のおとなから聞いた (5) テレビで知った
(6) インターネットで知った (7) ヒグマ出沒の看板を見て知った
(8) どうやって知ったかは、わからない、おぼえていない
(9) (1)~(8)のどれにもあてはまらない人は、下にどうやって知ったかを書いてください。
(.....)
(.....)

3. 今日のヒグマ教室で、どこでのお話がおもしろかったですか？あてはまるものにひとつ〇をつけてください。
(1) 動物科学館 (2) エソシカ舎 (3) エソヒグマ館
(4) エソヒグマ館のバックヤード(トワの飼育室)
.....ヒグマ教室でおもしろかったことや、気づいたことを書いてください.....
.....
.....


最後まで書いてくれてありがとう。クマ 

図 4-4-4 ヒグマ講座アンケート調査票 3/5

豊平区ヒグマ講座 アンケート調査票

ヒグマ講座 - アンケート -

本日は、ヒグマ講座にご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただくため、アンケートのご協力をお願いします。

あなたご自身について、あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

■お住まい：1) 豊平区内（西岡地区） 2) 豊平区内（福住地区） 3) 豊平区内（地区名：_____地区）
4) 札幌市内（区名：_____区） 5) 札幌市外：（市町村名：_____）

■年代：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

■森林散策・山菜取り等に出かける頻度：

1) 年間数回程度 2) 月1回程度 3) 月に2～3回程度 4) 週1回程度

5) 山や森林散策へは、ほとんど出かける

6) その他：(.....)。

1. 札幌市内では、山間部のほか、住宅地に近い森林にもヒグマが出没しています。このことをご存知でしたか？ あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。

(1) ヒグマの出没は知ってはいたが、住宅地に近い森林にも出没していることは知らなかった

(2) 住宅地に近い森林にヒグマが出没していることは、だいたい把握していた

(3) 札幌市内にヒグマが出没していることは、今回のヒグマ講座で初めて知った

(4) その他：(.....)

2. 札幌市内のヒグマの出没については、これまで、何によって知りましたか？

あてはまるものに、いくつでも〇をつけてください。

(1) 新聞 (2) テレビ (3) ラジオ

(4) インターネット (5) 町内会の回覧板 (6) 区役所等で配布されるパンフレット

(7) 職場を通じて (8) 知人・友人から (9) 現場の看板で

(10) 忘れた・わからない

(11) その他：(.....)

3. 今日のヒグマ講座で、ヒグマの生態や習性、事故にあわないための方法などで、新しく知ったことがありましたか？ あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

(1) あった (2) なかった (3) その他 (.....)

→ (1)に〇をつけた方へ、新しく知ったことをひとつお聞かせください。

(.....)

(.....)

4. ヒグマの生態や習性、安全対策などについて知るために、どの媒体・手法を希望されますか？

あてはまるもの3つまで〇をつけてください

(1) インターネット (2) 今回のような講座・研修会 (3) 出没地等の解説板

(4) 新聞やテレビなどの特集 (5) 広報さっぽろの特集 (7) パンフレット

(8) 町内会の回覧板 (9) 雑誌・書籍

(10) その他：(.....)

(.....)

5. 本日のヒグマ講座に参加しての感想やご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

豊平区ヒグマ講座 児童用アンケート調査票

ヒグマ講座 - アンケート -

今日のヒグマ講座について、おたずねします。

あなた自身について、あてはまるものに〇をつけてください。

性別： (男子 ・ 女子)

学年： (小学校 ・ 4年生 ・ 5年生 ・ 6年生)

(中学校 ・ 1年生 ・ 2年生 ・ 3年生)

1. ヒグマが、札幌市内の山のなかに暮らしていることを知っていましたか？

あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。

(1) 知っていた。

(2) きょうのヒグマ講座で、はじめて知った。

2. 西岡公園近くにヒグマが出てきていることを知っていましたか？

あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。

(1) 知っていた。

(2) きょうのヒグマ講座で、はじめて知った。

→ (1)に〇をつけた人に質問します。

西岡公園の近くにヒグマが出てきていることをどうやって知りましたか？

あてはまるものに、いくつでも〇をつけてください。

(1) 学校の先生から聞いた (2) 家族から聞いた (3) 友だちから聞いた

(4) 家族や学校以外のおとなから聞いた (5) テレビで知った

(6) インターネットで知った (7) ヒグマ出没の看板を見て知った

(8) どうやって知ったかは、わからない、おぼえていない

(9) (1)～(8)のどれにもあてはまらない人は、下にどうやって知ったかを書いてください。

(.....)

3. 今日のヒグマ講座で、何がおもしろかったですか？あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

(1) ヒグマのいるところ (2) ヒグマのからだ

(3) ヒグマの食べもの (4) ヒグマのフンや足跡

(5) ヒグマにあわないための方法


(6) その他 下におもしろかったことを書いてください。

(.....)

さいごに、ヒグマ講座での感想や思ったことを書いてください。

.....

.....

最後まで書いてくれてありがとう。クマ 

西区ヒグマ講座 アンケート調査票

ヒグマ講座 - アンケート -

本日は、ヒグマ講座にご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にさせていただくため、アンケートのご協力をお願いします。

あなたご自身について、あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

■お住まい：1) 西区宮の沢地区 2) 手稲区西宮の沢地区 3) 西区西野地区 4) 西区西町地区
5) その他(地区名.....)

■年代：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

■森林散策・山菜取り等に出かける頻度：

1) 年間数回程度 2) 月1回程度 3) 月に2~3回程度 4) 週1回程度

5) 山や森林散策へは、ほとんど出かける

6) その他：(.....)

1. 札幌市内では、山間部のほか、住宅地に近い森林にもヒグマが出没しています。このことをご存知でしたか？ あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。

(1) ヒグマの出没は知ってはいましたが、住宅地に近い森林にも出没していることは知らなかった

(2) 住宅地に近い森林にヒグマが出没していることは、だいたい把握していた

(3) 札幌市内にヒグマが出没していることは、今回のヒグマ講座で初めて知った

(4) その他：(.....)

2. 札幌市内のヒグマの出没については、これまで、何によって知りましたか？

あてはまるものに、いくつでも〇をつけてください。

(1) 新聞 (2) テレビ (3) ラジオ

(4) インターネット (5) 町内会の回覧板 (6) 区役所等で配布されるパンフレット

(7) 職場を通じて (8) 知人・友人から (9) 現場の看板で

(10) 忘れて・わからない

(11) その他：(.....)

3. 今日のヒグマ講座で、ヒグマの生態や習性、事故にあわないための方法などで、新しく知ったことがありますか？ あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

(1) あった (2) なかった (3) その他 (.....)

→ (1)に〇をつけた方へ、新しく知ったことをひとつお聞かせください。

(.....)

4. ヒグマの生態や習性、安全対策などについて知るために、どの媒体・手法を希望されますか？

あてはまるものを3つまで〇をつけてください

(1) インターネット (2) 今回のような講座・研修会 (3) 出沒地等の解説板

(4) 新聞やテレビなどの特集 (5) 広報さっぽろの特集 (7) パンフレット

(8) 町内会の回覧板 (9) 雑誌・書籍

(10) その他：(.....)

5. 本日のヒグマ講座に参加しての感想やご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。

.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

西区ヒグマ教室 児童用アンケート調査票

ヒグマ教室 - アンケート -

今日のヒグマ教室について、おたずねします。

あなた自身について、あてはまるものに〇をつけてください。

性別： (男子 ・ 女子)

学年： (4年生 ・ 5年生 ・ 6年生)

1. ヒグマが、札幌市内の山のなかに暮らしていることを知っていましたか？
あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。

(1) 知っていた。

(2) きょうのヒグマ教室で、はじめて知った。

2. 西野西公園とその近くにヒグマが出てきていることを知っていましたか？

あてはまるものに、ひとつ〇をつけてください。

(1) 知っていた。

(2) きょうのヒグマ教室で、はじめて知った。

→ (1)に〇をつけた人に質問します。

西野西公園とその近くにヒグマが出てきていることをどうやって知りましたか？

あてはまるものに、いくつでも〇をつけてください。

(1) 学校の先生から聞いた (2) 家族から聞いた (3) 友だちから聞いた

(4) 家族や学校以外のおとなから聞いた (5) テレビで知った

(6) インターネットで知った (7) ヒグマ出沒の看板を見て知った

(8) どうやって知ったかは、わからない、おぼえていない

(9) (1)~(8)のどれにもあてはまらない人は、下にどうやって知ったかを書いてください。

(.....)

3. 今日のヒグマ教室で、新しく知ったことがありましたか？あてはまるものにひとつ〇をつけてください。

(1) ヒグマのからだ

(2) ヒグマの食べもの

(3) ヒグマの習性

(4) ヒグマのいるところ

(5) ヒグマにあわないための方法

(6) ヒグマに出会ってしまったらどうするか

(7) その他 下に書いてください。

(.....)

(.....)


さいごに、ヒグマ教室での感想や思ったことを書いてください。

.....

.....

.....

.....

最後まで書いてくれてありがとう。クマ 

(1) 南区ヒグマ講座（学校関係者向）

【南区ヒグマ講座（学校関係者向）の概要】

- 開催日時：平成 23 年 7 月 21 日（木）15:30～17:00 場所：南区役所 3 階会議室
- 開催案内の対象：過去にヒグマが出没している地区の主な教育機関管理職、教諭
【受講案内学校】藤野小学校・藤野南小学校・藤の沢小学校・石山南小学校・石山小学校・簾舞小学校・豊滝小学校・常盤小学校・駒岡小学校・南の沢小学校・定山溪小学校・石山中学校・藤野中学校・簾舞中学校・定山溪中学校・南陵高校・文教大明清高校
- 参加者数：24 名
- 講座内容：
 1. ヒグマはどこにいるか（出没情報件数の傾向、出没場所）
 2. ヒグマはどんな動物か？（ヒグマのからだ、ライフサイクル、食性、行動圏、行動習性）
 3. ヒグマとの事故を防ぐには

上記の1～3の内容をスライドで説明する他に、グループに分かれて「食べたものとフンの写真合わせ」「ヒグマのフンや足跡の正解さがし」などのクイズもおこなった。また、講座の前後の時間で直接触れられるように、毛皮などの実物を会場に展示した。さらに、参加者へは、ヒグマ注意喚起のチラシを配布した（図 4-4-1）。講座終了後には、参加者から多くの質問を受けた。



スライド説明



「食べものとフンの写真合わせ」をする参加者



毛皮に見入る参加者



実物のフンについて質問する参加者

写真 4-4-1 南区ヒグマ講座（学校関係者向）のようす

【南区ヒグマ講座（学校関係者向）のアンケート調査結果】

アンケート調査票は、参加者 24 名全員より回収することができた。

■ 参加者属性（図 4-4-7）

参加者の居住地は 7 割近くが地元の南区であり、中央区 21%、豊平区が 13%であった。年代別では、50 代が 7 割近くを占め、40 代が 25%、60 代が 8%であった。

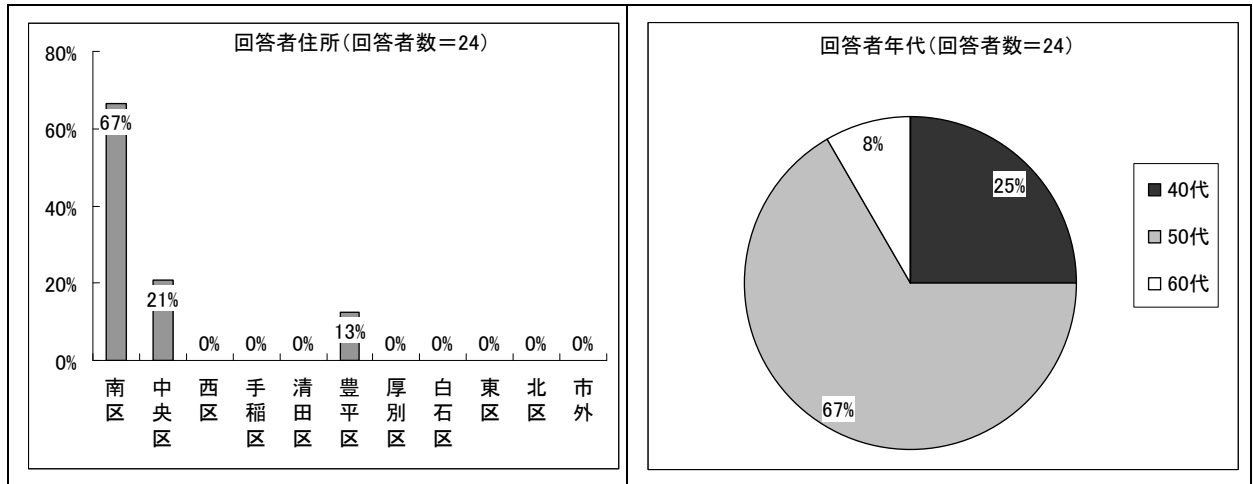


図 4-4-7 南区ヒグマ講座（学校関係者向）の参加者属性

■ ヒグマ出没地域の認識、ヒグマ出没情報の情報源（図 4-4-8）

ヒグマが住宅地に近い森林にも出没していることは 9 割以上の参加者が把握していた。ヒグマ出没の情報は、テレビや新聞などのマスコミから得たという参加者が約 8 割を占めた。参加者が学校教員であることから、「職場を通じて」知った参加者は 63%であった。ほかに、「現場での看板で」知ったとの回答が 46%、次いで「町内会の回覧」33%「インターネット」「パンフレット」がともに 29%とつづいた。南区はヒグマ出没情報件数が札幌市内で最も多いため、職場である学校へ出没情報が頻繁に通知され、また周辺の出没現場で注意看板を見る機会も多いと考えられる。そのため「職場を通じて」「現場の看板で」の回答比率が高くなったと思われる。

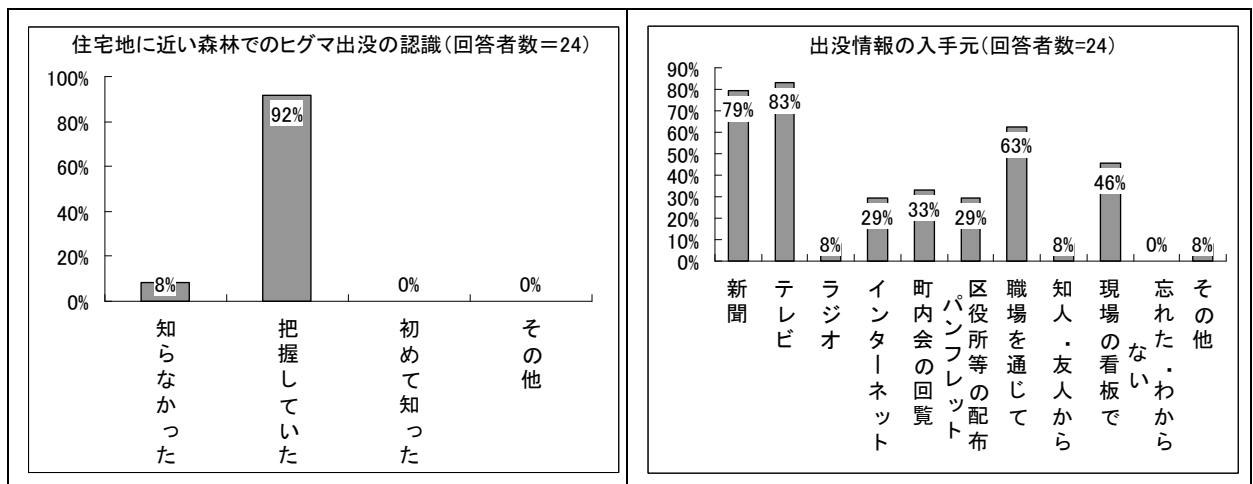


図 4-4-8 出没地域の認識、情報入手元

■ ヒグマ講座での新たな知識習得、ヒグマ対策等の知識習得の希望手法媒体 (図 4-4-9)

今回のヒグマ講座でヒグマの生態や対策について新たに知ったことがあった参加者は 9 割を超え、講座の目的を果たすことができたと考える。新しく知った内容として、ヒグマの食性や行動習性、遭遇した場合の対処などがあげられていた。

ヒグマの生態や習性、安全対策を知るための手法や媒体としての希望は、「インターネット」が 67%、今回のような「講座・研修会」が 54%、次いで「出没地の解説板」33%、「広報さっぽろの特集」と「パンフレット」がともに 25%、「新聞やテレビの特集」17%となっていた。

児童生徒へヒグマについて伝えなければならない立場にある参加者は、まずはインターネットでヒグマの生態や対策についての知識を得たいと考えており、さらに、専門家との質疑応答もできる講座、研修会の機会も希望している。

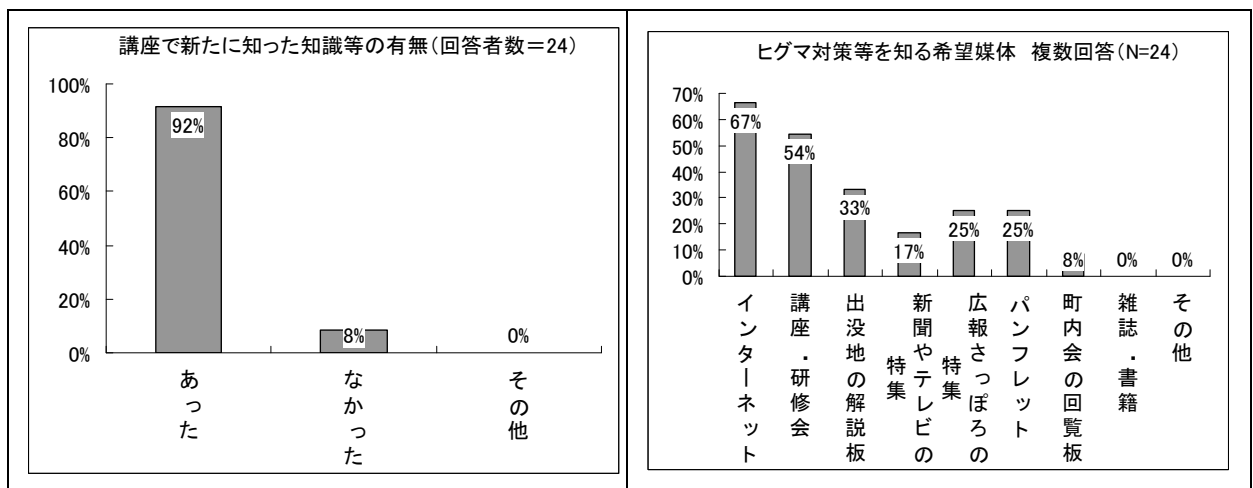


図 4-4-9 知識習得の有無、対策等の希望手法媒体

(2) 手稲山のヒグマ講座（手稲区区民向）

【手稲山のヒグマ講座（手稲区民向）の概要】

- 開催日時：平成 23 年 7 月 26 日（火）18:30～20:00
- 場所：手稲区民センター2 階ホール
- 開催案内の対象：手稲区民
 広報さっぽろ 7 月号の手稲区版に開催案内が掲載された。また、独自のチラシ（図 4-4-24）を作成し、ファイルを区役所へ提供した。
- 参加者数：48 名
- 講座内容：
 案内チラシ（図 4-4-10）にある 3 つのテーマについて、スライドを使って説明するとともに、講座の前後や休憩時間中に触れられるように、毛皮などの実物を会場に展示した。参加者へはヒグマ注意喚起のチラシ（図 4-4-1）を配布した。講座終了後に多くの質問を受けた。

手稲山のヒグマ講座

開催日時
平成 23 年 7 月 26 日（火）
18 時 30 分～20 時 00 分（開場 18 時 10 分）

○ ヒグマはどこにいるの？
 ○ ヒグマはどんな動物なの？
 ○ ヒグマとの事故を避けるためには？

手稲山に生息するヒグマの習性や暮らしぶりなどを学ぶ講座を開催します。
 ◎ 講師：特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所

■ 会場
 【札幌市手稲区民センター】
 札幌市手稲区前田 1 条 111 丁目 2 階 区民ホール

■ 参加費
 無料

■ 定員
 200 名（先着順）

■ 交通機関
 ○ JR 手稲駅北口から徒歩 5 分
 ○ JR バス手稲駅前下車 徒歩 5 分
 ○ JR バス・中央バス、手稲区役所前下車 徒歩 3 分

◆ 申込方法
 【札幌市コールセンター】へ電話でお申し込みください。
 電話 011-222-4894

◆ 申込期間
 平成 23 年 7 月 11 日（月）～ 平成 23 年 7 月 25 日（月）

主催：札幌市
 <お問い合わせ先>
 【手稲区市民部総務企画課（地域安全担当）】 電話 011-681-2400 内線 288・289
 【札幌市市民まちづくり局地域振興部政課】 電話 011-211-2252

図 4-4-10 手稲山のヒグマ講座のチラシ



スライド説明



色カードを挙げてクイズに答える参加者



毛皮に触れたり実際のフンについて質問する参加者



写真 4-4-2 手稲山のヒグマ講座（手稲区民向）のようす

【手稲山のヒグマ講座（手稲区民向）のアンケート調査結果】

アンケート調査票は、参加者 49 名中 48 名より回収することができた。

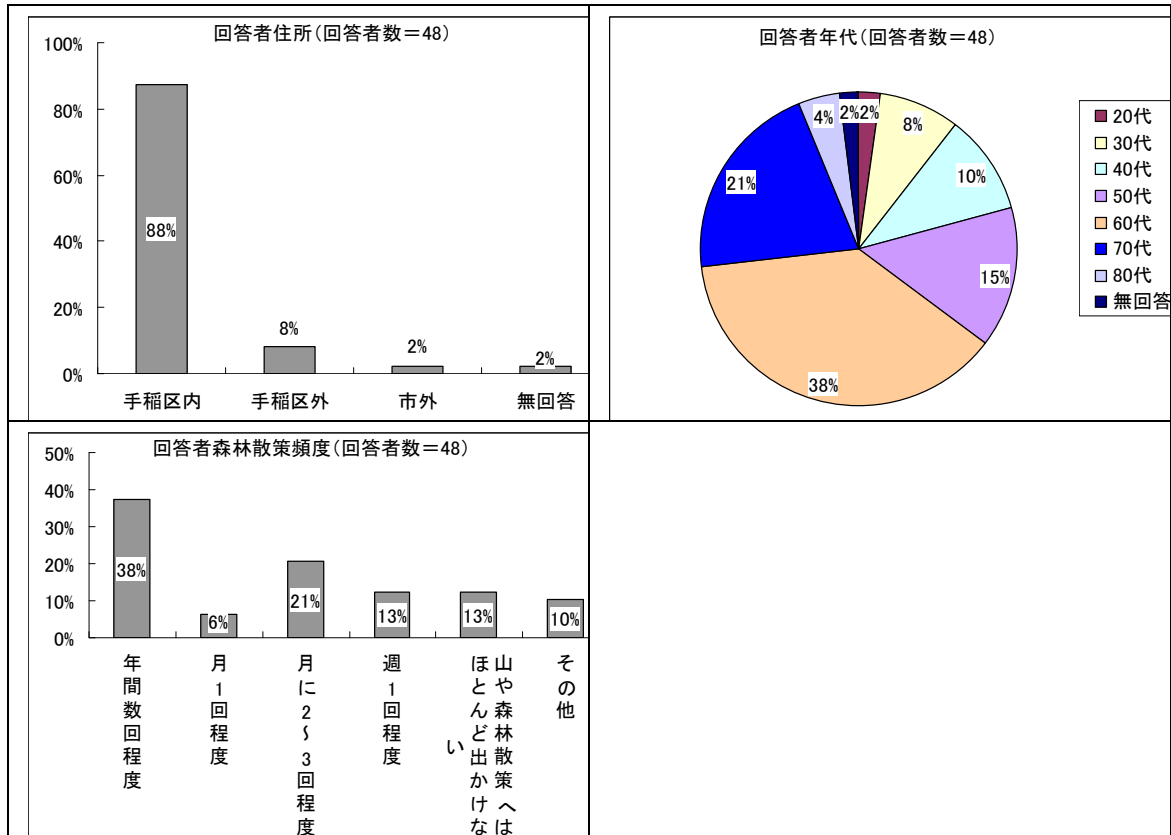


図 4-4-11 手稲山のヒグマ講座（手稲区民向）の参加者属性

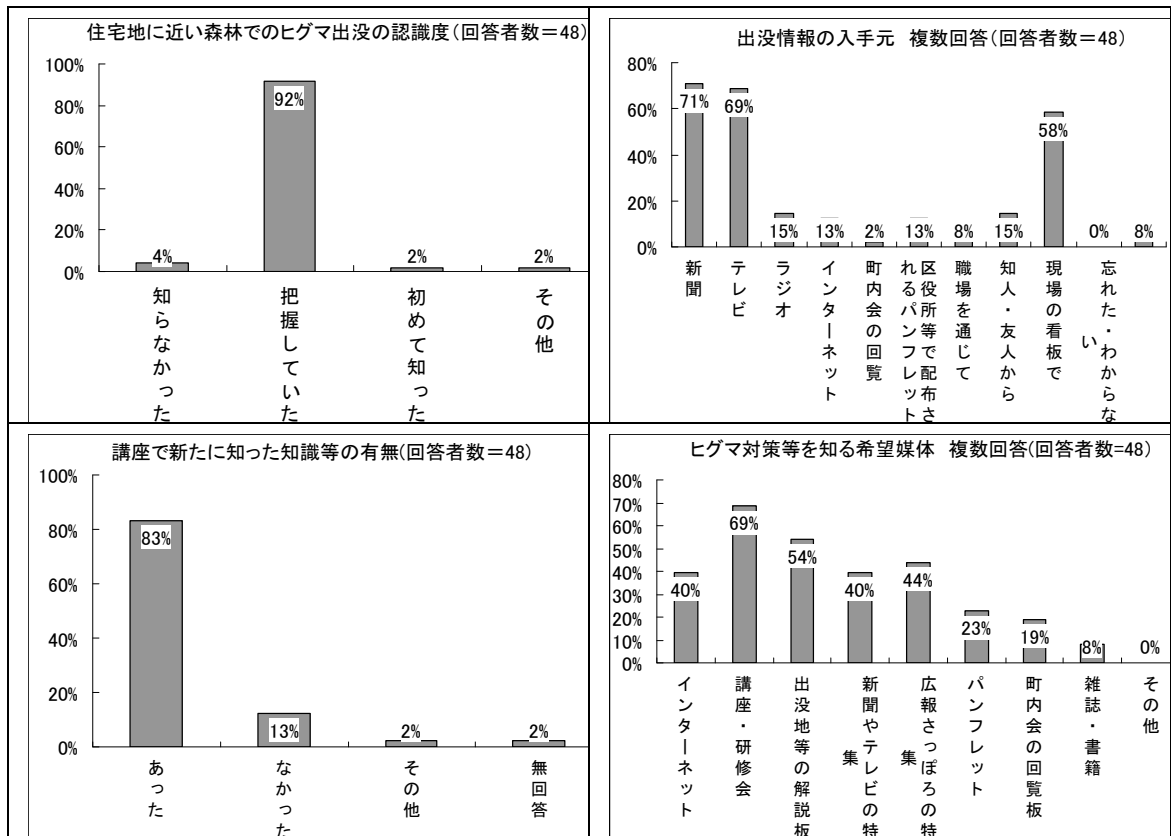


図 4-4-12 出没地域の認識、情報入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体

■ 回答者属性 (図 4-4-11)

参加者の居住地は88%が地元の手稲区であった。年代別では、60代が最も多く38%、次いで70代、50代、40代、30代とつづく。50代以上が8割を占めた。また、森林散策の頻度では、「年間数回程度」が38%、次いで「月2~3回」が21%、「週1回程度」「ほとんど出かけない」がともに13%とつづく。

■ ヒグマ出没地域の認識、出没情報の入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体 (図 4-4-26)

ヒグマの出没地域について住宅地に近い森林に出没していることは、92%の回答者が把握していた。

出没情報の入手元は、テレビや新聞などのマスコミから得たという参加者が約7割を占め、次いで「現場の看板」が58%を占めた。他の媒体はいずれも2割に満たなかった。手稲区では、住宅地に近い箇所でのヒグマ出没情報が近年ほとんどなかったため、町内会の回覧や区役所等のパンフレットによる情報提供の機会が少なく、そのため、「町内会の回覧」「パンフレット」の比率が低かったのではないかと考えられる。

ヒグマ講座に参加して新たな知識の習得があったとする回答者が8割を超え、講座の目的を果たすことできたと考えている。具体的には、実物のフンや行動習性について知ったという記述が多くみられた。

ヒグマの生態や対策等を知るための手法や媒体としての希望は、「講座・研修会」が最も多く約7割を占めた。次いで「出没地の解説板」が54%、「広報さっぽろの特集」44%、「インターネット」「新聞やテレビの特集」がともに4割となっていた。

(3) 南区ヒグマ講座（町内会向）

【南区ヒグマ講座（町内会向）の概要】

■ 開催日時：平成 23 年 7 月 28 日（木）18:00～19:30 場所：南区役所 3 階会議室

■ 開催案内の対象：ヒグマ出没地域の主な町内会の関係者

【案内地区】 藻岩地区・石山地区・芸術の森地区・藤野地区・簾舞地区・定山溪地区

■ 参加者数：24 名

■ 講座内容：

1. ヒグマはどこにいるの（ヒグマの分布、札幌市内の出没情報）
2. ヒグマはどんな動物か？（ヒグマのからだ、ライフサイクル、食性、行動圏、行動習性）
3. ヒグマとの事故を防ぐには

上記の 1～3 の内容をスライドで説明する他に、グループに分かれて「食べたものとフンの写真合わせ」「ヒグマのフンや足跡の正解さがし」などのクイズもおこなった。また、講座の前後の時間で直接触れられるように、毛皮などの実物を会場に展示した。さらに、参加者へは、ヒグマ注意喚起のチラシを配布した（図 4-4-1）。



スライド説明



「食べものとフンの写真合わせ」をする参加者



実物のフンを見る



毛皮について質問する参加者

写真 4-4-3 南区ヒグマ講座（町内会向）のようす

【南区ヒグマ講座（町内会向）のアンケート調査結果】

アンケート調査票は、参加者 24 名全員より回収することができた。

■ 参加者属性（図 4-4-13）

参加者の居住地は藤野地区 42%、簾舞地区が 33%であり、この 2つの地区で参加者の 4分の 3 を占めた。ほかは、石山地区、藻岩地区からの参加もあった。年代では、70 代が 5割、60 代が 25%、50 代が 13%と、50 代以上が参加者の 9 割近くを占めた。

参加者の森林散策の頻度をみると、「ほとんど出かけない」という参加者が 5 割、年数回が 4 分の 1、次いで「月に 2～3 回」17%であった。

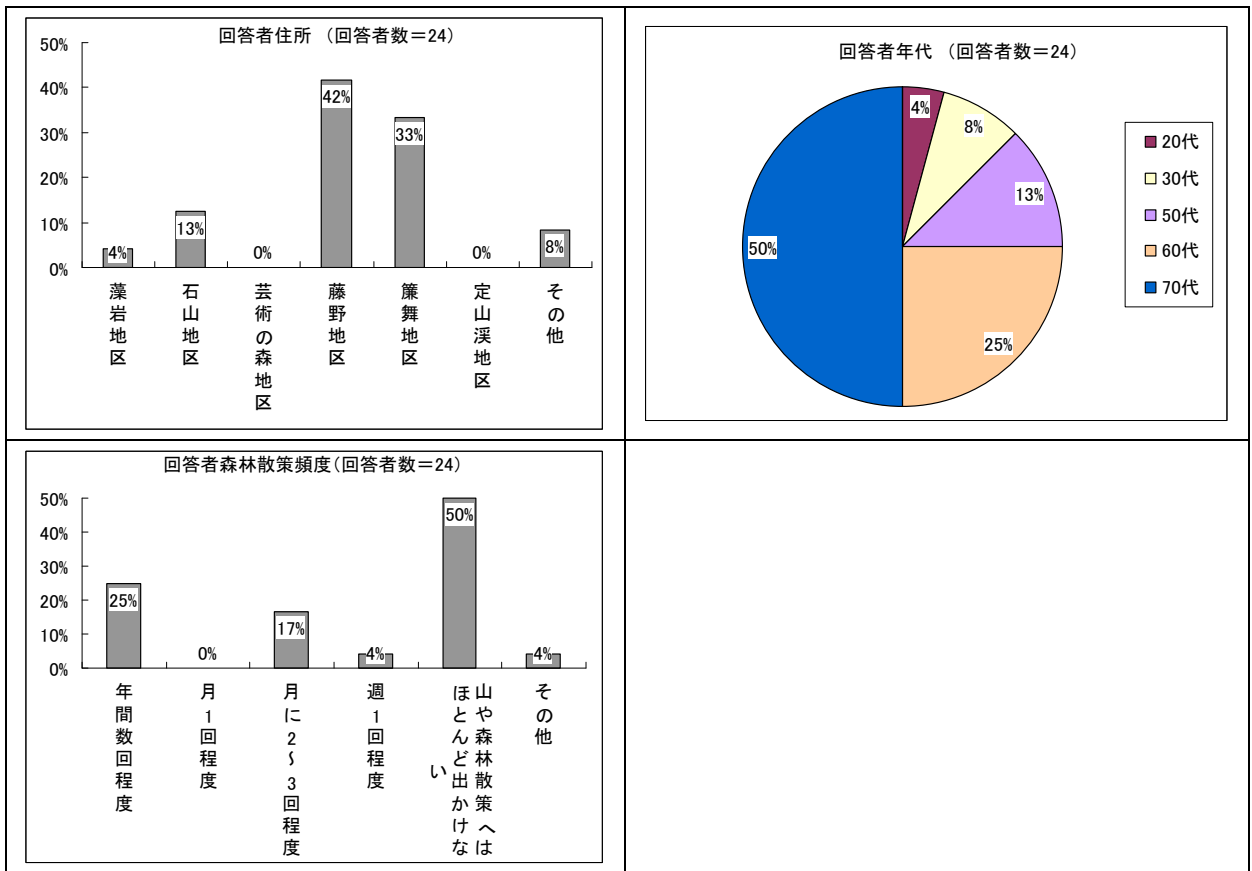


図 4-4-13 南区ヒグマ講座（町内会向）の参加者属性

■ ヒグマ出没地域の認識、ヒグマ出没情報の情報源（図 4-4-14）

ヒグマが住宅地に近い森林にも出没していることは 9 割を超える参加者が把握していた。

ヒグマ出没の情報は、「テレビ」「新聞」などのマスコミから得たという参加者が約 6 割を占めた。「町内会の回覧」5 割、「現場の看板」33%、次いで、「パンフレット」「職場を通じて」とつづく。藤野地区、簾舞地区周辺ではヒグマの出没があいつぎ、地元では町内会の回覧や現地看板によって出没を知った参加者が多かったのではないかと考えられる。

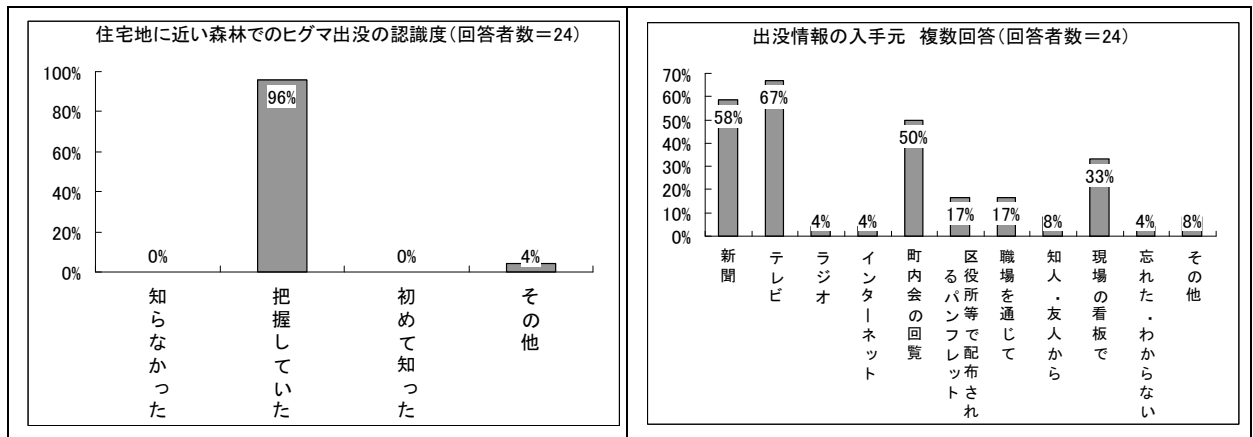


図 4-4-14 出没地域の認識、情報入手元

■ ヒグマ講座での新たな知識習得、ヒグマ対策等の知識習得の希望手法媒体 (図 4-4-15)

今回のヒグマ講座でヒグマの生態や対策について新たに知ったことがあった参加者は 8割近くとなり、おおよそ講座の目的を果たすことができたと考える。新しく知った内容として、ヒグマのフンの見分け方や日中も行動するなどの行動習性などがあげられていた。

ヒグマの生態や習性、安全対策を知るための手法や媒体としての希望は、「新聞やテレビの特集」が 42%、次いで「講座・研修会」38%となっていた。「出没地等の解説板」33%「広報さっぽろの特集」「パンフレット」がともに 29%とつづく。「インターネット」が 8%となった理由は、高齢者の占める割合が高いこと関係していると思われるが、研修会や広報さっぽろの特集、解説板など、多様な媒体による情報提供が求められている。

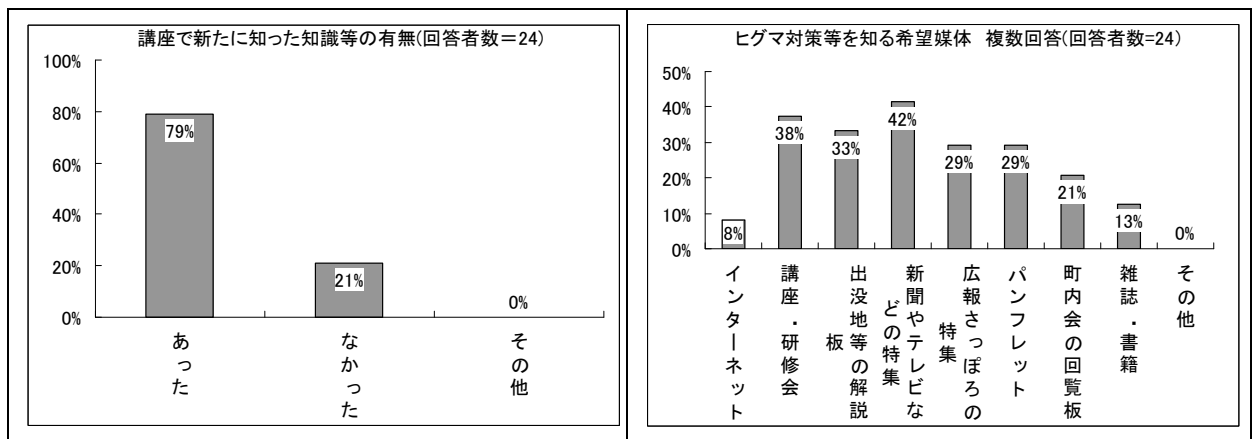


図 4-4-15 知識習得の有無、対策等の希望手法媒体

(4) 中央区ヒグマ講座（町内会向）・ヒグマ教室（児童向）

【中央区ヒグマ講座（町内会向）・ヒグマ教室（児童向）の概要】

- 開催日時：平成 23 年 9 月 15 日（木）9:30～11:30
- 場所：円山動物園（動物科学館、エゾヒグマ館、エゾシカ・オオカミ舎）
- 開催案内の対象：近隣町内会と大倉山小学校 4 年生
【受講案内町内会】宮の森大倉山連合町内会・円山西町町内会・上盤溪町内会・宮の森中央町内会・宮の森こぶし自治会・荒井山町内会
- 参加者数：町内会 15 名 大倉山小学校 4 年生 69 名
- 実施体制：円山動物園を会場に、中央区と円山動物園、および当団体との協働により、ヒグマ講座（児童向けの名称は「ヒグマ教室」）を実施した。

■ 講座内容：

円山動物園の①動物科学館、②エゾシカ・オオカミ舎、③エゾヒグマ館、の 3 つの施設を使用して、動物園スタッフとともに、ヒグマ講座・ヒグマ教室を実施した。

①動物科学館：

スライドを使って、「ヒグマがどんな動物か」「ヒグマはどこにいるか」「ヒグマとの事故を防ぐには」を説明した。町内会参加者と小学生とを対象に同時に実施した。

②エゾシカ・オオカミ舎 2 階：

2 階スペースに、「ヒグマの毛皮」「ヒグマの食べものとフン」「ヒグマの足跡」の 3 つのコーナーを設け、参加者はこれら 3 つをめぐるという形式とした。各コーナーには説明や質問に答えるスタッフを配置した。

③エゾヒグマ館：

施設の収容スペースの関係から、町内会のグループおよび小学生を数グループに分け、ヒグマ「とわ」のヒグマ飼育舎(バックヤード)の見学・解説をおこなった。ここでは、円山動物園スタッフと当団体スタッフとの合同で説明をおこなった。

町内会参加者へは、ヒグマ注意喚起のチラシ（図 4-4-1）を配布した。



スライドでの説明を受ける児童・町内会参加者
(円山動物園動物科学館)



足跡や痕跡の説明を受ける町内会参加者
(円山動物園エゾシカ・オオカミ舎 2階)



ヒグマのフンや食べものを写真で学ぶ
(円山動物園エゾシカ・オオカミ舎 2階)



ヒグマの毛皮にふれる



ヒグマ「とわ」を観察

(円山動物園エゾヒグマ館 左: ヒグマ「とわ」 右: バックヤード (飼育舎) 内)



バックヤード (飼育舎) 内で「とわ」のフンを観察

写真 4-4-4 中央区ヒグマ講座・ヒグマ教室のようす

【中央区ヒグマ講座（町内会向）のアンケート調査結果】

アンケート調査票は、参加者 15 名中 14 名より回収することができた。

■ 参加者属性（図 4-4-16）

回答者の所属町内会は円山西町が最も多く、次いで荒井山町内会であった。年代では 70 代が最も多く、次いで 60 代、50 代、40 代とつづく。50 代以上は回答者の 4 分の 3 を超える。森林散策の頻度は、6 割近い回答者が「ほとんど出かけない」と回答していた。

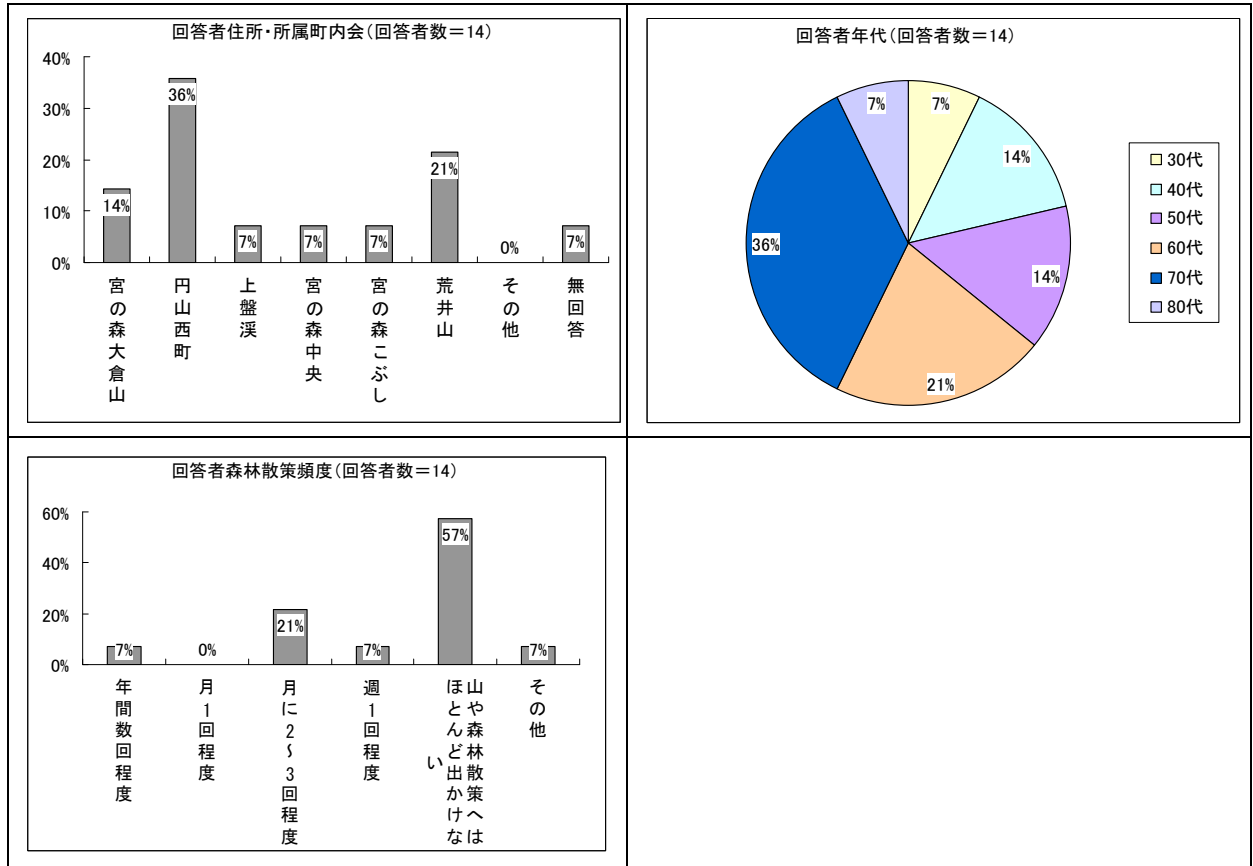


図 4-4-16 中央区ヒグマ講座（町内会向）の参加者属性

■ ヒグマ出没地域の認識、出没情報の入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体（図 4-4-17）

ヒグマが住宅地に近い森林にも出没していることは、8 割に近い回答者が把握していた。

ヒグマ出没の情報は、「新聞」「町内会の回覧」から得たとする回答者が 64%、次いで「区役所等で配布されるパンフレット」43%「テレビ」35%とつづく。6 月から 7 月にかけて、宮の森市道付近でヒグマが出没した際に、町内会の回覧板により周知が図られたことが、「町内会の回覧」の比率の高さに表れている。

今回のヒグマ講座でヒグマの生態や対策について新たに知ったことがあったとする回答者は 8 割を超え、講座の目的を果たすことができたと考える。新しく知った内容として、ヒグマの食性や行動習性、遭遇した場合の対処などがあげられていた。

ヒグマの生態や習性、安全対策を知るための手法や媒体としての希望は、「町内会の回覧

板」が 64%、「講座・研修会」50%、次いで「インターネット」「新聞やテレビの特集」が 36%とつづく。新聞やテレビでとりあげられない出没情報を町内会の回覧で知り、さらに、出没時の対策等についても、同様に回覧板によって周知されることが望まれている。

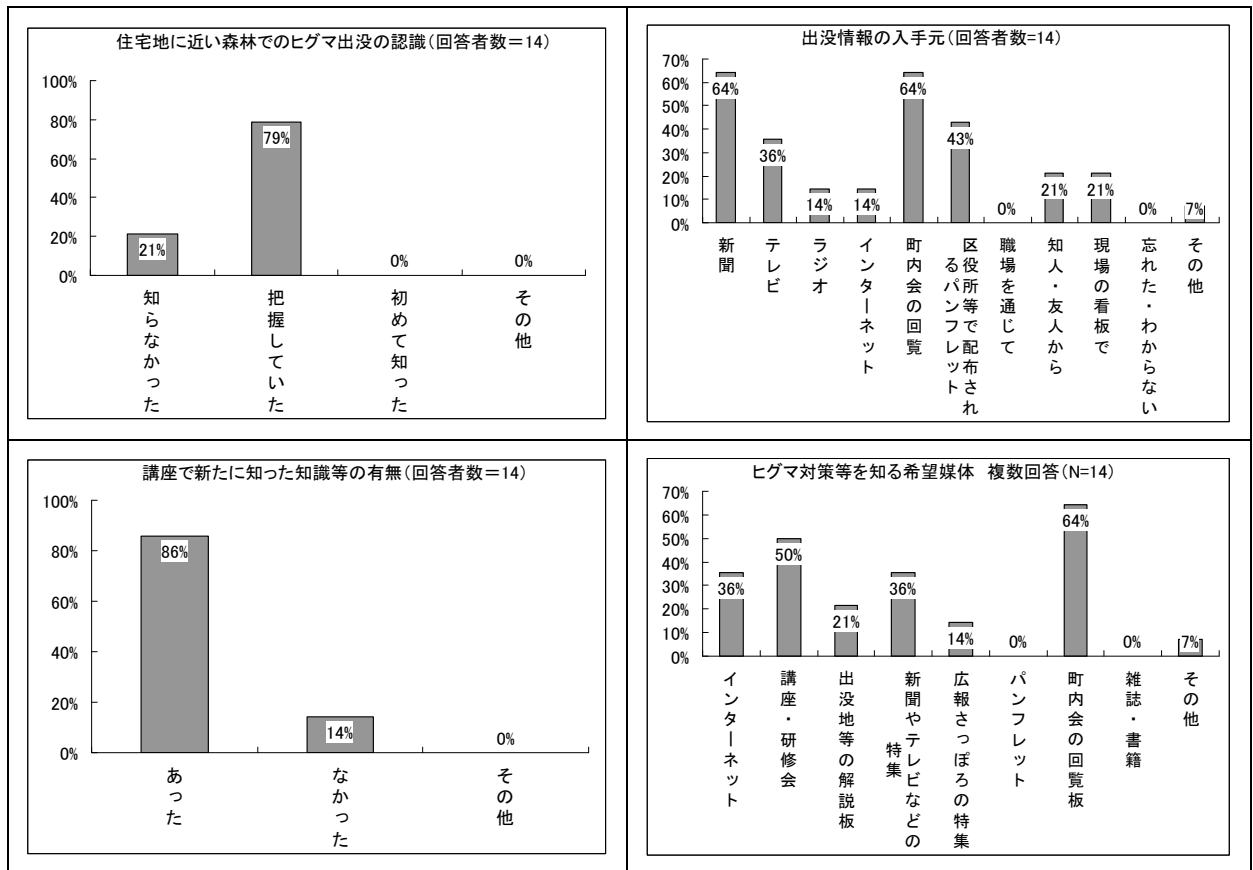


図 4-4-17 出没地域の認識、情報入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体

【中央区ヒグマ教室（大倉山小学校 4 年生向）のアンケート調査結果】

■ 回答者属性について (図 4-4-18)

大倉山小学校 4 年生の参加者については、69 名より調査票を回収することができた。回答者の男女比は、男子、女子が 6 対 4 となっていた。

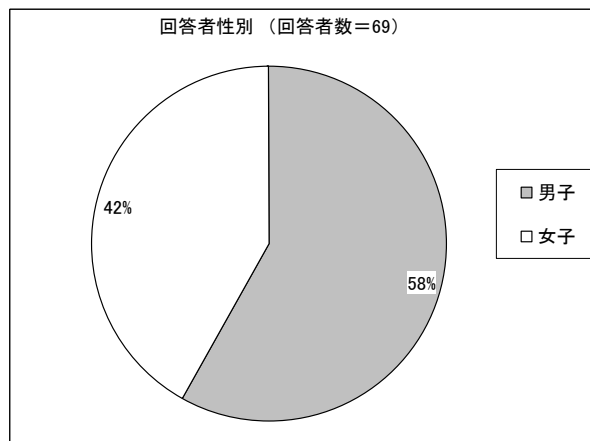


図 4-4-18 中央区ヒグマ教室回答児童の男女比

■ 札幌市内におけるヒグマの生息と出没に関する認識（図 4-4-19）

札幌市内にヒグマが生息していること、また大倉山小学校周辺でヒグマが出没していることについて、参加者の9割に近い児童が知っていた。

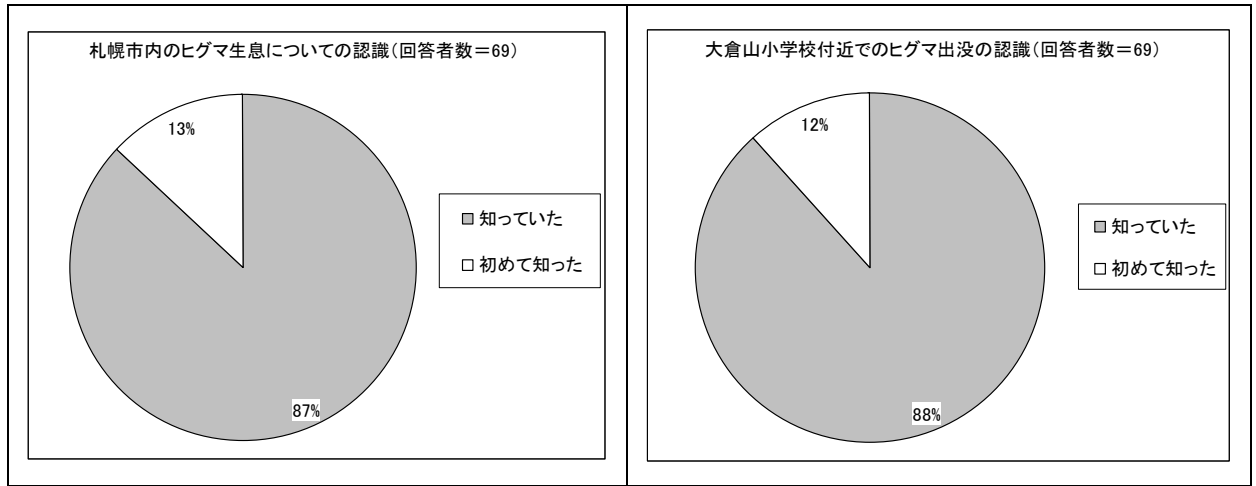


図 4-4-19 札幌市内におけるヒグマ生息および大倉山小学校周辺での出没の認識

ヒグマ出没情報の情報元は、「学校の先生」が78%、次いで「家族」43%、「テレビ」35%となっていた。ヒグマの出没情報については、周辺住民である保護者が必ずしも把握しているわけではなく、学校から情報を得ることが多いと考えられる。

児童のおもしろかった場所は、「バックヤード」が最も多く30%、次いで「エゾヒグマ館」「エゾシカ舎（エゾシカ・オオカミ舎）」とつづく。普段入ることができないバックヤードでの見学と解説が児童に一番人気があり、実物の毛皮に触れたり足跡の説明を聞くエゾシカ舎やヒグマの「トワ」を見学したエゾヒグマ館も印象に残ったようである。児童に対しては、実物を見たり触れたりする体験型の手法が効果的であると考えられる。

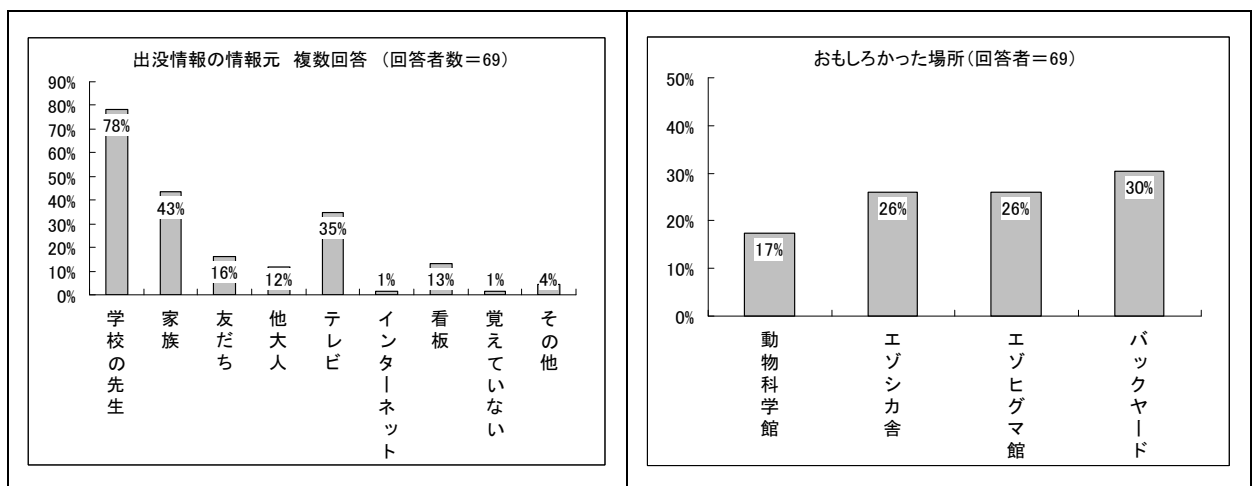


図 4-4-20 出没情報の情報元とおもしろかった場所

(5) 清田区ヒグマ講座 (清田区民向)

【清田区ヒグマ講座 (清田区民向) の概要】

- 開催日時：平成 23 年 9 月 27 日 (火) 18:30～20:00
- 場所：清田区民センター2 階
- 開催案内の対象：清田区民
 広報さっぽろ 9 月号の清田区版に開催案内が掲載された。また、出没地に近い有明地区町内会へも区役所から声がけされた。
- 参加者数：19 名
- 講座内容：以下の 4 つのテーマについてスライドや拡大写真や地図を使用しながら、説明した。

ヒグマの生態や事故を避けるための注意点などを学びます。

日時 9月27日(火) 午後6時30分～8時
会場 区民センター(清田1条2丁目)集会室2・3
定員・費用 70人・無料
申込 9月11日(回)～25日(回)に電話でお申し込みください。**[先着]**
申込先・詳細：市コールセンター ☎ 222-4894




図 4-4-21 広報さっぽろ 9 月号清田区版の案内

1. ヒグマはどこにいるの (ヒグマの分布、札幌市内や清田区の出没情報)
2. ヒグマはどんな動物か (ヒグマのからだ、ライフサイクル、食性、行動圏、行動習性)
3. ヒグマとの事故を防ぐには？
4. 痕跡の見分け方について

途中、写真合わせ等のクイズもおこなった。また、直接触られるように毛皮などの実物を会場に展示した。参加者へはヒグマ注意喚起のチラシ (図 4-4-1) を配布した。



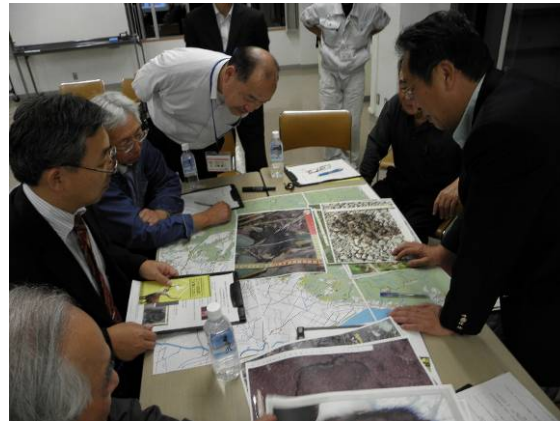
スライド説明



拡大写真を使って説明



地図でヒグマ出没地や居住地等を確認する参加者



ヒグマのフンの正解写真をさがす参加者

写真 4-4-5 清田区ヒグマ講座 (清田区民向) のようす

【清田区ヒグマ講座（清田区民向）のアンケート調査結果】

アンケート調査票は、参加者 19 名全員より回収することができた。

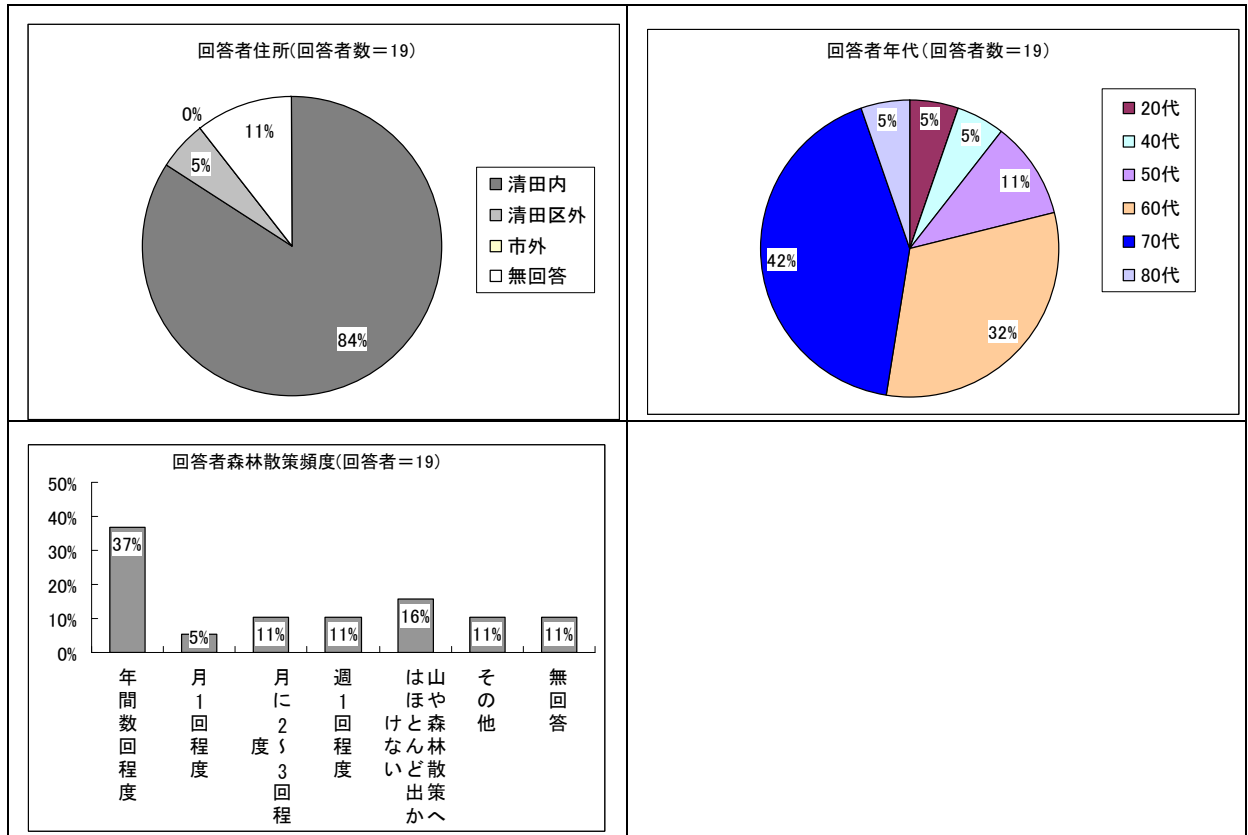


図 4-4-22 清田区ヒグマ講座（清田区民向）の参加者属性

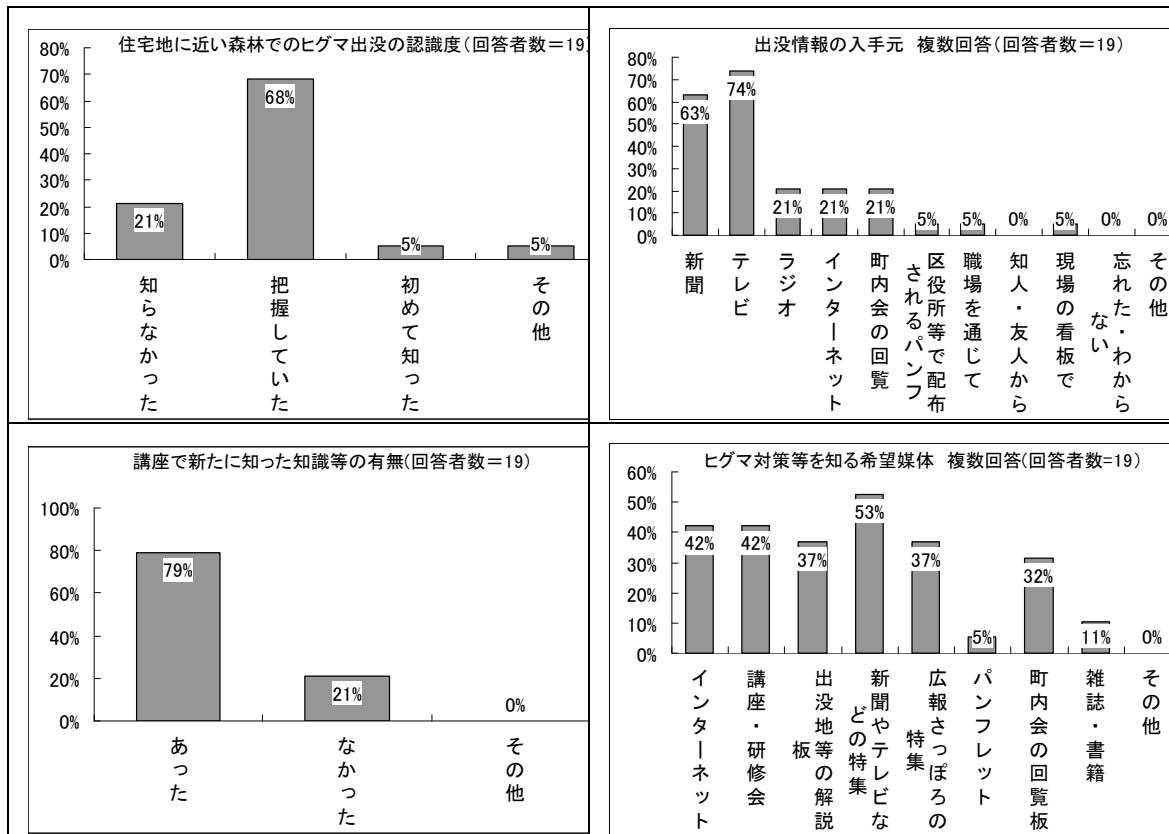


図 4-4-23 出沒地域の認識、情報入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体

■ 参加者属性（図 4-4-22）

参加者の 84%が地元清田区在住であった。年代では、70 代が最も多く 42%、次いで 60 代、50 代とつづく。50 代以上が 9 割を占めた。また、森林散策の頻度では、「年間数回程度」が 37%と最も多かった。

■ ヒグマ出没地域の認識、出没情報の入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体（図 4-4-23）

ヒグマの出没地域について住宅地に近い森林に出没していることを 7 割近い参加者が把握していた。

出没情報の入手元は、「テレビ」74%「新聞」63%とマスコミが多くを占めた。次いで「ラジオ」「インターネット」「町内会の回覧」が同じ 21%であった。

ヒグマ講座に参加して新たな知識の習得があったとする回答者が 8 割近く、おおよそ講座の目的を果たすことできたと考えている。具体的には、足跡やフンなどの痕跡に見分け方について知ったという記述が多かった。

ヒグマの生態や対策等を知るための手法や媒体としての希望は、「新聞やテレビの特集」が 53%、次いで、「インターネット」「講座・研修会」がともに 42%、「出没地等の解説板」「広報さっぽろの特集」が同じ 37%、「町内会の回覧板」32%とつづく。希望する手法や媒体については、6 つの項目で 3 割を超えていた。

(6) 豊平区ヒグマ講座

【豊平区ヒグマ講座の概要】

- 開催日時：平成 23 年 10 月 15 日（土）
10:30～11:00 11:30～12:00 13:30～14:00
- 場所：西岡公園管理事務所内
- 開催案内の対象：西岡公園利用者および周辺住民
西岡地区 6 町内会、福住地区 5 町内会に回覧板により案内チラシ（図 4-4-24）が回覧され、また西岡公園管理事務所では掲示とともに公園ホームページに掲載された。
- 参加者数：45 人（3 回総計）おとな 42 人小学生 3 人
1 回目 16 人、2 回目 13 人、3 回目 16 人
- 講座内容：
チラシ（図 4-4-24）に掲載されている 3 つのテーマについてスライドのほか、実物のフンや拡大写真などを使用して説明した。参加者へはヒグマ注意喚起のチラシ（図 4-4-1）を配布した。



図 4-4-24 豊平区ヒグマ講座のチラシ



会場となった西岡公園管理事務所



フンの実物を見せて説明



スライドを使っでの説明



拡大写真や実物のフンを見る参加者

写真 4-4-2-6 豊平区ヒグマ講座のようす

【豊平区ヒグマ講座のアンケート調査結果】

アンケート調査票は、参加者 45 名のうち、おとな 42 名より回収することができた。

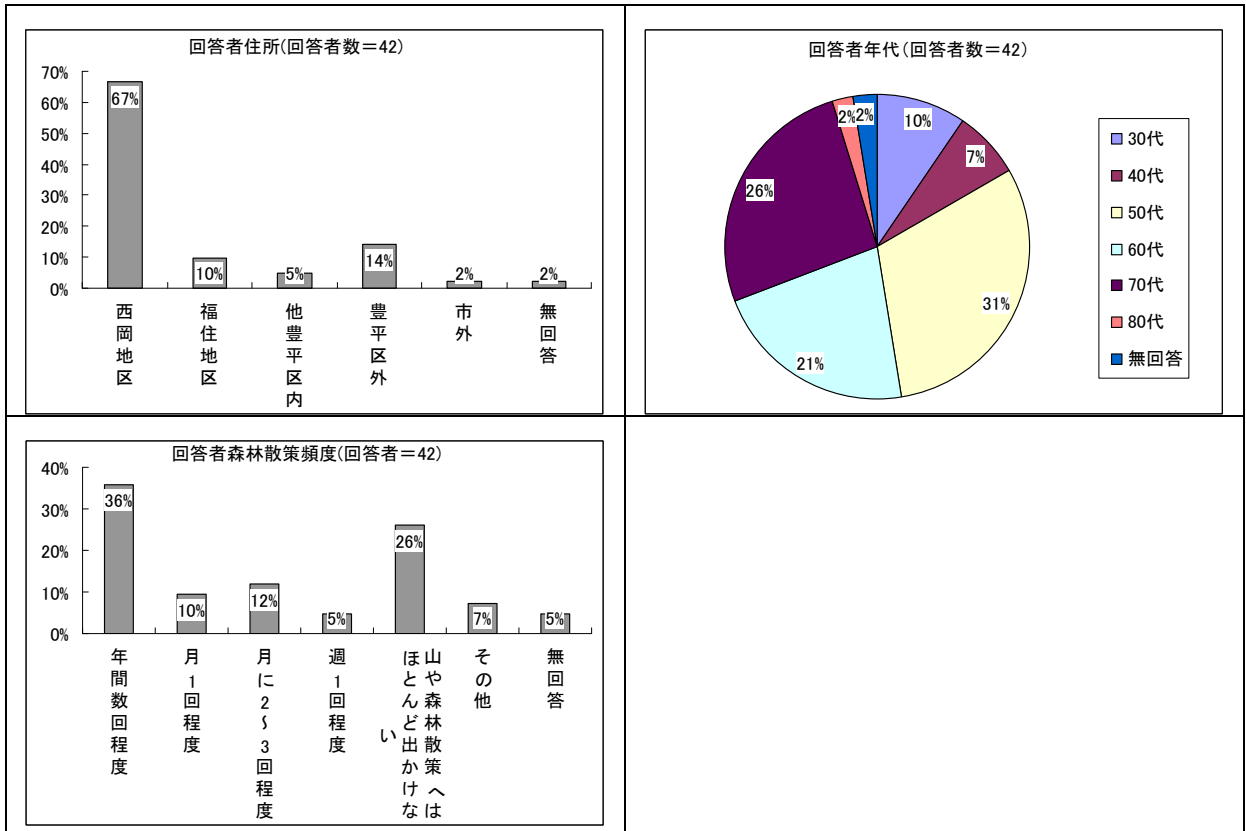


図 4-4-25 豊平ヒグマ講座 (回答者属性)

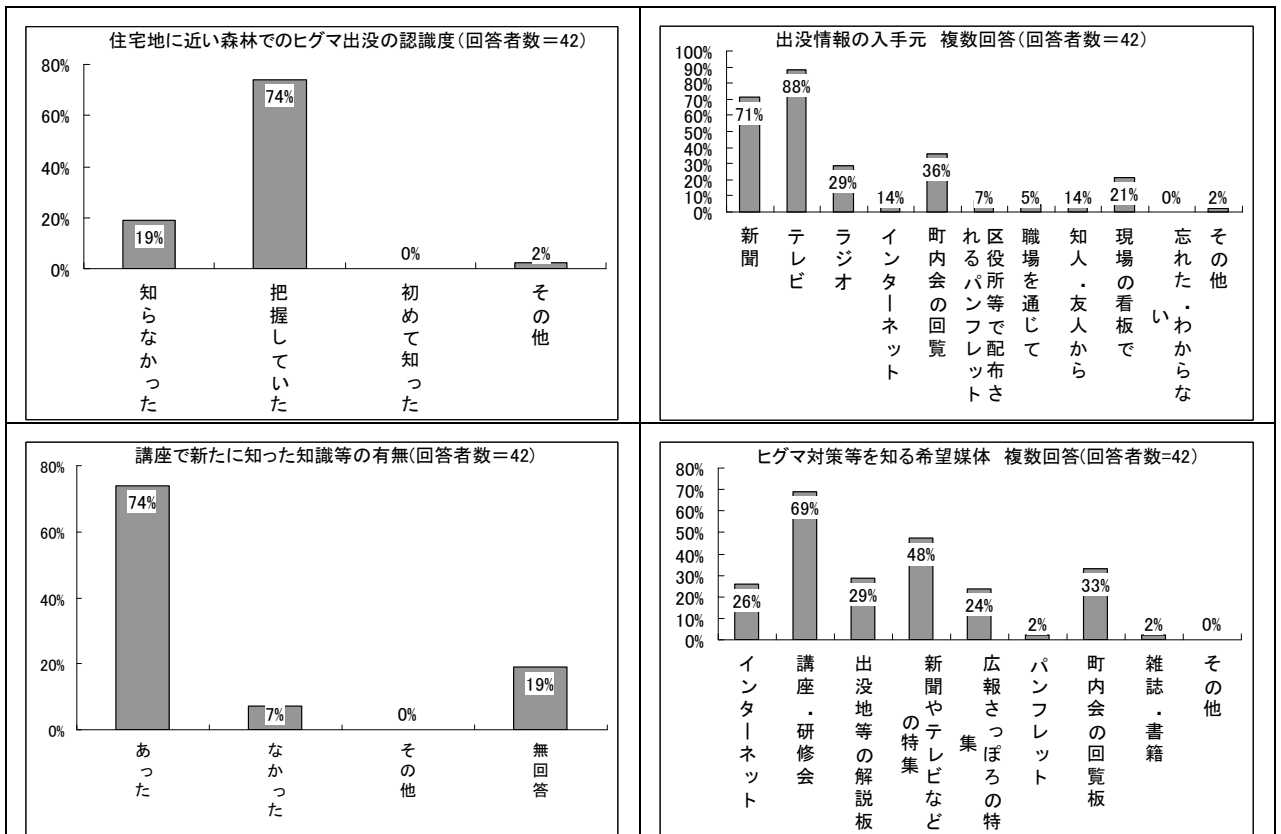


図 4-4-26 出没地域の認識、情報入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体

児童のアンケートについては、対象となる小学4年生以上の回答者が1人であったため割愛した。

■ 回答者属性 (図 4-4-25)

回答者の居住地は、西岡地区の住民が7割近くを占め、豊平区以外からの回答者もみられた。年代では、50代が最も多く31%、次いで60代、70代、とつづく。50代以上が8割を超えた。また、森林散策の頻度では、「年間数回程度」が36%、次いで「ほとんど出かけない」が26%となっていた。

■ ヒグマ出没地域の認識、出没情報の入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体 (図 4-4-26)

ヒグマの出没地域について住宅地に近い森林に出没していることを、回答者の74%が把握していた。

出没情報の入手元は、「テレビ」88%「新聞」71%とマスコミが多くを占め、次いで「町内会の回覧」36%「ラジオ」29%「現場の看板で」21%とつづく。

ヒグマ講座に参加して新たな知識の習得があったとする回答者が7割を超え、講座の目的をおおよそ果たすことできたと考えている。具体的には、行動圏や行動習性、フンなどの痕跡の見分け方について知ったという記述がみられた。

ヒグマの生態や対策等を知るための手法や媒体としての希望は、「講座・研修会」が69%を占めていた。次いで「新聞やテレビの特集」48%、「町内会の回覧」33%「出没地等の解説板」29%「インターネット」26%「広報さっぽろの特集」24%とつづく。昨年、ヒグマ出没により西岡公園が閉鎖されたが、それまで岡公園周辺ではほとんどヒグマ出没情報がなかった。西岡地区の参加者からは、ヒグマについての情報や知見を得るための講座・研修会が望まれている。

(7) 西区ヒグマ講座（宮丘小学校関係者向）

【西区ヒグマ講座（宮丘小学校関係者向）の概要】

- 開催日時：平成 23 年 10 月 23 日（金）15:00～16:30
- 場所：宮丘小学校視聴覚室
- 開催案内の対象：宮丘小学校PTA関係者、町内会等
- 参加者数：48名 おとな44人子ども4人
- 講座内容：以下の4つのテーマについてスライドや拡大写真を使用しながら、説明した。
 1. ヒグマはどこにいるの（ヒグマの分布、札幌市内や西区の出没情報）
 2. ヒグマはどんな動物か（ヒグマのからだ、ライフサイクル、食性、行動圏、行動習性）
 3. ヒグマとの事故を防ぐには？
 4. 痕跡の見分け方について

途中、色カードで答えたり写真合わせなどのクイズもおこなった。また、毛皮や周辺の空中写真を会場に展示して、解説した。

また、参加者へはヒグマ注意喚起のチラシ（図 4-4-1）を配布した。



色カードをあげてクイズに答える参加者



ヒグマの毛皮に触れる



空中写真に見入る参加者



ヒグマの食べものとフンの写真あわせ

写真 4-4-7 西区ヒグマ講座（宮丘小学校関係者向）のようす

【西区ヒグマ講座（宮丘小学校関係者向）のアンケート調査結果】

アンケート調査票は、参加者 48 名中、おとな 36 名より回収することができた。

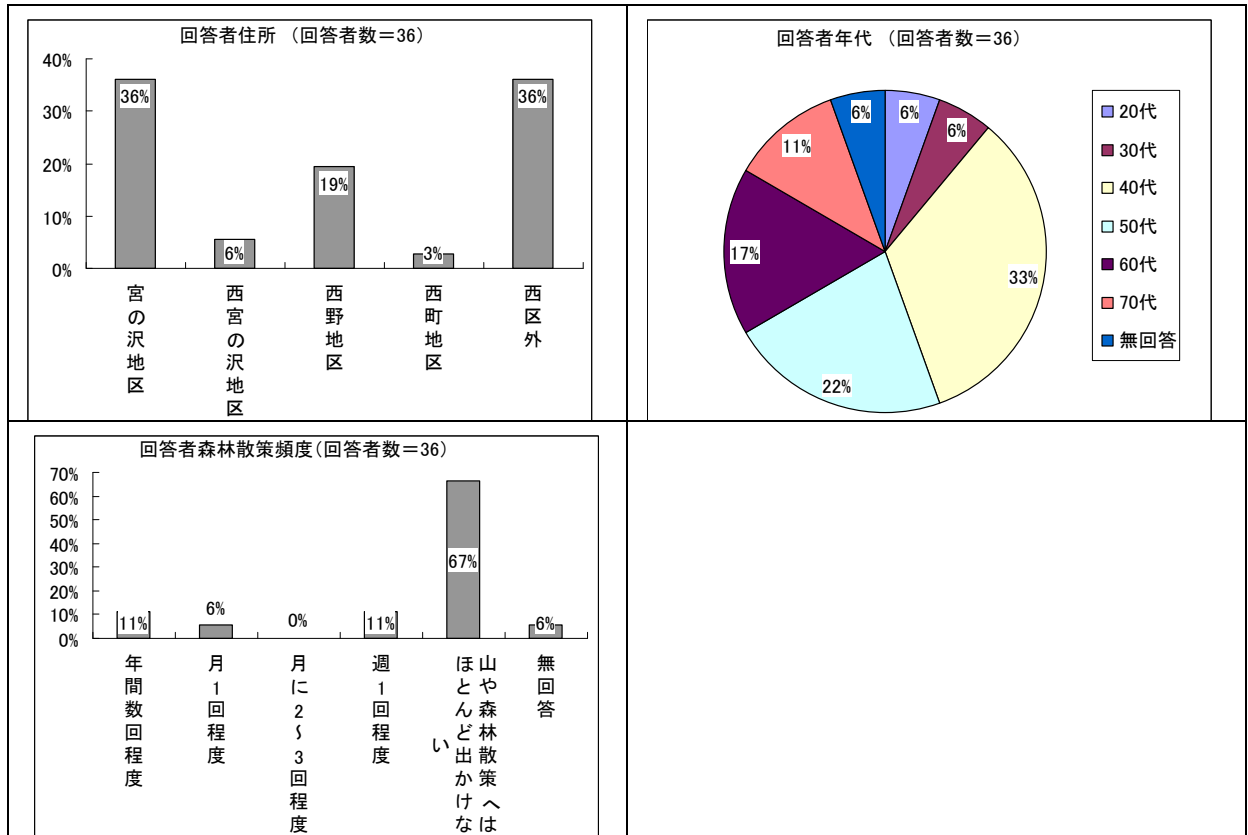


図 4-4-27 西区ヒグマ講座（宮丘小学校関係者向）の回答者属性

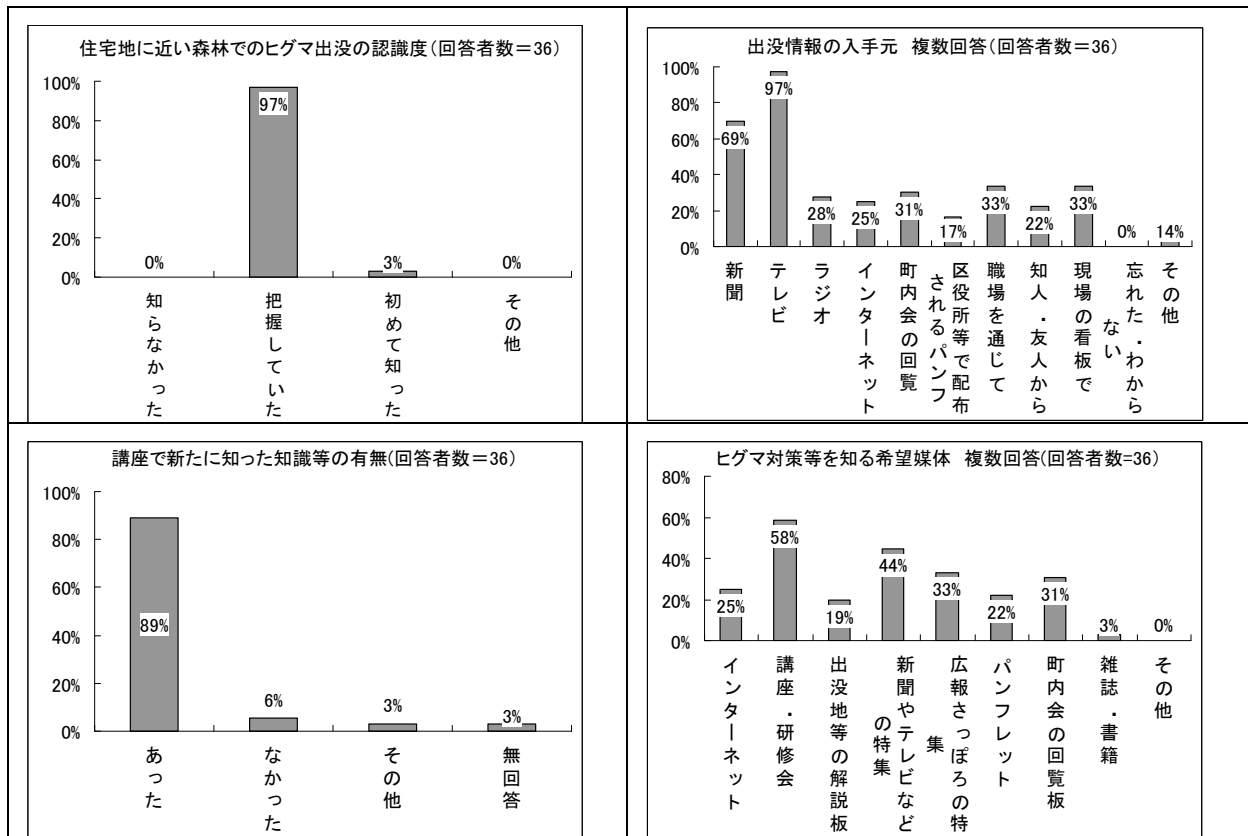


図 4-4-28 出没地域の認識、情報入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体

■ 参加者属性 (図 4-4-27)

回答者の居住地は、宮の沢地区 36%、次いで西野地区 19%、西区以外の回答者も 36%と 3 割を超えていた。年代では、40 代が最も多く 33%、次いで 50 代、60 代とつづき、20～40 代の占める比率が 5 割に近く、他のヒグマ講座に比較して若い年代が多かった。森林散策の頻度では、67%の回答者が「ほとんど出かけない」と回答していた。

■ ヒグマ出没地域の認識、出没情報の入手元、知識習得の有無、対策等の希望手法媒体 (図 4-4-28)

ヒグマの出没地域について、住宅地に近い森林に出没していることを 97%の回答者が把握していた。西区西野地区では、平成 13 年度以降、毎年のように住宅地周辺にヒグマが出没しているため、出没の周知が図られているものと考えられる。

出没情報の入手元は、「テレビ」97%「新聞」69%となっていた。「職場を通じて」「現場の看板で」がともに 33%、「町内会の回覧」31%とつづく。

ヒグマ講座に参加して新たな知識の習得があったとする回答者が 9 割近く、講座の目的を果たすことできたと考えている。具体的には、行動習性やフンの見分け方について知ったという記述が多くみられた。

ヒグマの生態や対策等を知るための手法や媒体としての希望は、「講座・研修会」が 58%と最も多く、「新聞やテレビの特集」が 44%、「広報さっぽろの特集」33%「町内会の回覧」31%とつづいた。。

(8) 西区ヒグマ講座—西野第二小学校ヒグマ教室—

【西野第二小学校ヒグマ教室の概要】

- 開催日時：平成 23 年 11 月 2 日（水）9:20～9:50
- 場所：西野第二小学校体育館
- 開催案内の対象：西野第二小学校全校児童
- 参加者数：児童数および教職員あわせて約 800 人
- 講座内容：

「ヒグマはどんな動物か」「ヒグマはどこにいるか」「ヒグマとの事故を防ぐには」をスライドを使って説明した。1年生から6年生が対象となるので、1年生もわかる言葉を使うように配慮した。児童へは、担任の先生を通じて、ヒグマ注意喚起のチラシ（図 4-4-1）を配布し、保護者への周知を図った。



体育館に集合した児童たち



手をあげて質問に答える児童たち



スライドを使っでの説明 ヒグマの足の写真



スライドの説明を聞く児童

写真 4-4-8 西野第二小学校ヒグマ教室のようす

【西野第二小学校ヒグマ教室のアンケート調査結果】

ヒグマ教室に参加した全校児童のうち、4年生以上を対象にアンケートをおこない、アンケート調査票は100名より回収することができた。

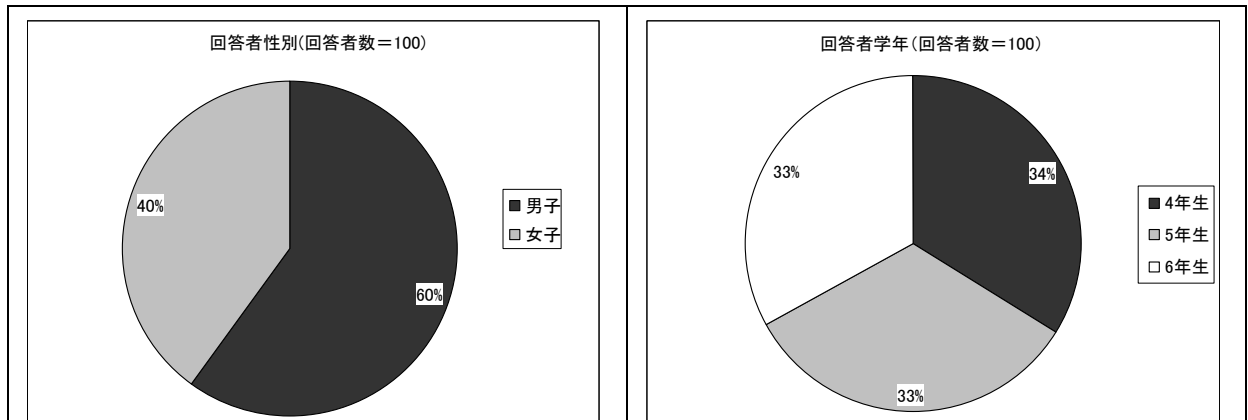


図 4-4-29 西野第二小学校ヒグマ教室 (回答者属性)

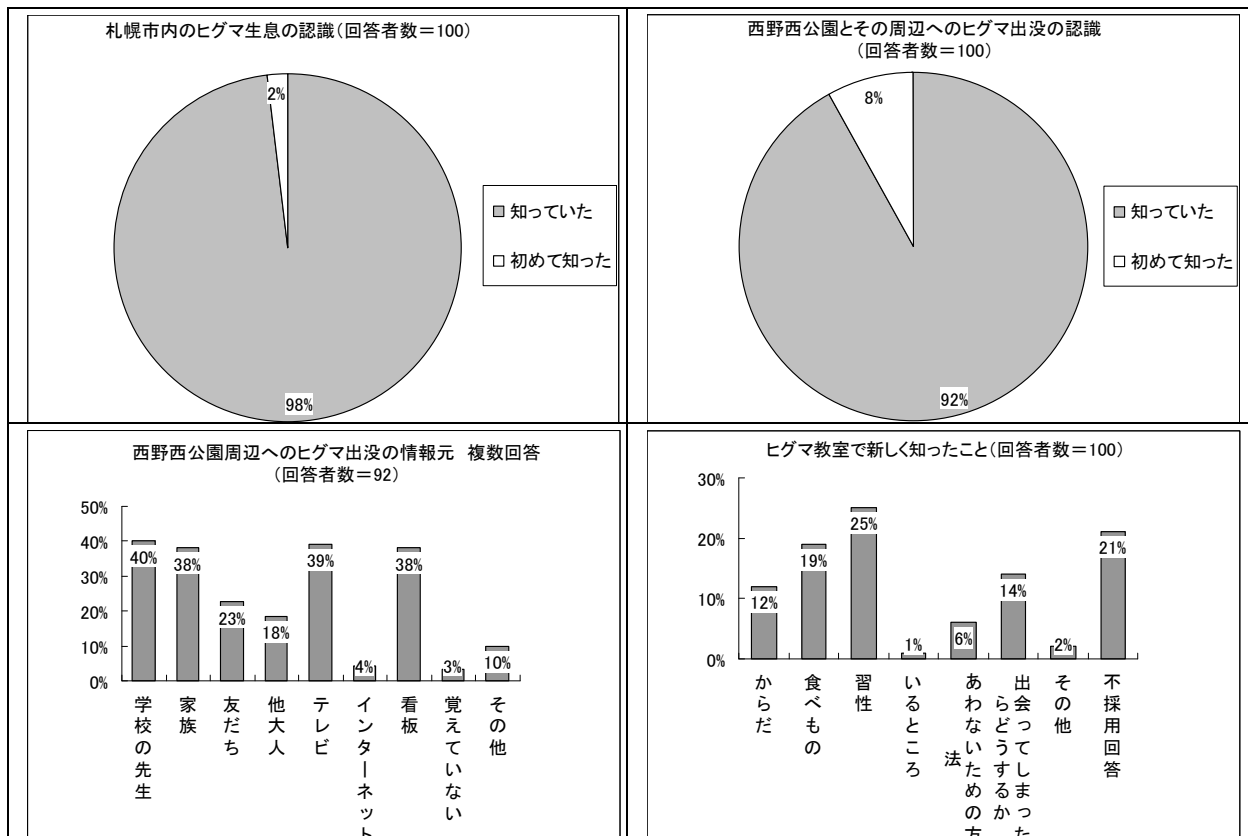


図 4-4-30 市内および西野西公園周辺の出没地域の認識、情報入手元、知識習得の内容

■ 回答者属性 (図 4-4-29)

回答者の男女比は6対4、4年生5年生6年生の割合はそれぞれ約3割、ほぼ同じであった。

■ 市内および西野西公園周辺の出没地域の認識、情報入手元、知識習得の内容 (図 4-4-30)

札幌市内におけるヒグマの生息、および西野西公園周辺におけるヒグマ出没については、回答者の9割を超える児童は知っていた。西野地区では、毎年のように出没情報があるた

め、学校や家族による周知がなされていると思われる。

出没の情報元は、「学校の先生」37%「テレビ」36%「家族」「看板」がともに35%であった。

ヒグマ教室で新しく知ったこととしては、「習性」が最も多く25%、次いで食べもの19%であった。無効回答が21%と多かったが、これは、複数回答ではなかったため、ヒグマについて新たに知ったことが多岐にわたり、ひとつの項目に絞りきれなかったためと考えられる。複数回答とした場合は、多くの項目について回答され、回答比率も高くなったと考えられる。

(9) ヒグマ講座アンケート調査結果のまとめ

7月から11月にかけて8回開催したヒグマ講座は、小学生から町内会役員、学校関係者等、一般市民と、対象や開催方法は多岐にわたった。そのため、参加者へのアンケート結果等を同一に比較することはできないが、「講座で新たに知った知識等の有無」については、「あった」とする回答者が毎回7割を超えており（小学生を除く）、ヒグマ講座がヒグマの生態や対応策の知識普及には一定の役割をはたしたと考えられる。また、小学生を対象とした回では、楽しみながらヒグマの生態や遭遇時の対応を知ることができたのではないかと感触を得ている。

アンケートの回答結果では、ヒグマについて新たに知った知識として、ヒグマの食性や行動習性、遭遇時の対応方法、フンなどの痕跡の見分け方などがあげられていた。これらの知識や情報を市民に広く伝えることの必要性が、あらためて確認された。

また、手稲区、豊平区、西区で開催したヒグマ講座では、ヒグマの基礎知識や対策を知る手法や媒体として、「講座・研修会」を希望する回答が半数を超えており、一番多かった。参加者の年代や職業等、野外活動の頻度とも関係するとは思われるが、ヒグマ講座の需要が高いことがうかがわれた。

4-4-3 ヒグマに関する普及啓発の課題等

今回のヒグマ講座の開催・運営を通じて、また参加者のアンケート調査結果を受けて、ヒグマに関する普及啓発の課題や提案を以下に記した。

【多様な媒体による情報提供】

講座参加者のアンケート結果から、比較的高齢者が多い回答者グループでは、出没情報をインターネットで入手する割合が少ない傾向にあった。ヒグマの出没情報は迅速に出没地域周辺の住民に伝える必要があり、またヒグマの生態や対処法等の情報は、手軽な手法・媒体で提供することが求められる。インターネットは即時性があり、また提供できる情報量も調節できるが、パソコン環境や使用技術が求められ、必ずしもだれでもが使用できるものではない。そのため、インターネット以外の印刷物や仮設式看板、町内会の活用等、多様な媒体・手法による情報提供が必要と考えられる。

これまで、札幌市ではヒグマに関するリーフレットが印刷され配布されることがなかったことから、各区役所や市民が必要に応じて、インターネットサイトより出力して使用できるリーフレットを作成した（図 4-4-31～図 4-4-33）。このリーフレットは本事業で作成したホームページでダウンロードできるようにしている。リーフレットの内容をインターネットから閲覧でき、パソコン等がない市民へは、出力したリーフレットを配布することで対応できる。

【小中学校関係者の研修会開催】

今回実施した8回のヒグマ講座のうち、2回は学校関係者を対象に実施した。児童生徒の安全管理を担う学校関係者にとって、ヒグマの出没情報だけではなく、ヒグマの生態や対処法等の知識の習得は欠かせない。そこで、札幌市内小中学校の教職員を対象に、年1回程度ヒグマに関する研修会を開催することを提案したい。小中学校の教職員を通じて、ヒグマについての正しい知識が児童生徒へ伝えられるとともに、その児童生徒を通じて、その家族、保護者へも広まっていくことが期待される。



図 4-4-31 ヒグマリーフレット

ヒグマの生態

生息している場所

ヒグマは北海道内の森林に生息しています。札幌市内では、山間部はもちろん、市街地に近い藻岩山や円山に移動して来ることがあります。

ヒグマの一生

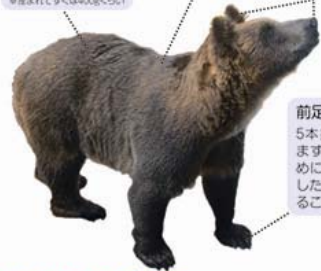
メスは冬眠期間中に2～3頭出産し、子グマは1歳半～2歳で母グマから独立します。5～7月ごろ、繁殖期となり、オスはメスを求めて移動します。オスは単独行動をします。

ヒグマのからだ

体重
オス 150～400kg
メス 100～200kg
※熊本県ですべては300kg以下

体長
オス 約2.0m
メス 約1.5m

嗅覚・聴覚
視覚よりも、嗅覚と聴覚が発達しています



前足
5本指で長いツメを持っています。ツメは食べ物を探すために穴を掘ったり、石を動かしたりと、日常生活のあらゆることに役立ちます

ヒグマの食べもの

ヒグマは雑食性です。大きな体を維持するために、春から秋にかけて、その時に最も手に入りやすい食べ物を大量に食べます。



フキ
春はフキやセリ科などの植物を食べます

オオハナウド
夏もセリ科などの植物のほかアリアハチなども食べます

サルナシ(ナ)
秋はクルミやドングリをたくさん食べます

ヒグマの痕跡

ヒグマのフン

ヒグマは食べ物を上手に消化できません。そのため、ヒグマのフンは食べたものが、ほとんどそのままの形で出てきます。

オニグルミを食べた時のフン



サルナシを食べた時のフン



アリを食べた時のフン



草の食料を食べた時のフン



足あとの見分け方

ヒグマの足あとには5本の指がつかます。多くの場合、前足の足あとには爪の跡も残ります。前足の幅の大きさによって、おとなのオス、あるいは子グマかどうかを区別できることがあります。

右前足の足あと



ヒグマが歩いたあと



左後足の足あと



Brown Bears in your neighbors:
Do you know about them?

札幌市内の山や森にもヒグマが生息しています。ヒグマはときに危険な存在となりますがヒグマのことをよく知ることが事故を防ぐことができます。

ヒグマのフンを知っていますか？



自動撮影装置で記録されたヒグマ写真
撮影地区：豊川市民の森 / 撮影日時：2010年9月24日 14時27分

図 4-4-32 ヒグマリーフレット 表紙側の面

ヒグマとの事故を避けるために

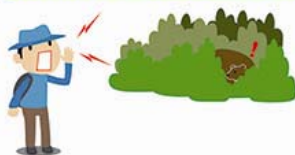
ヒグマと出遭わないようにすること!

野山に入るときは、札幌市のホームページや現地の看板などで、ヒグマの出没情報を確認しましょう。ヒグマが出没しているときは、次のことに注意して入山しましょう。

野山や林に入るときは、音を出しながら歩きましょう。

単独での入山は避けましょう。

ヒグマのフンや足あとなどを見つけたら引き返しましょう。



ワンポイント
多くのヒグマは、人を避けて行動しています。音を出すことでヒグマが人の存在を知り、多くの場合はヒグマが先に去っていきます。

ヒグマを人里に引き寄せないために…

食べもののゴミは、野山に捨てたり埋めたりしないで持ち帰りましょう。

生ゴミを野外に放置したり、夜間にゴミステーションへ、ゴミを出したりしないようにしましょう。ヒグマが、生ゴミや農作物などの味を一度覚えると、それを目的に繰り返し出没するようになります。



もしヒグマに出遭ってしまったら…



大声を出したり、走って逃げたり、石を投げたりは、絶対にしてはいけません。



落ち着きましょう。多くの場合は、ヒグマが先に立ち去ります。



ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。



背中を向けて走ってはいけません。本能的にヒグマが追いかけてきます。



子グマを見つけたら、近くに母グマがいるので、近づかずに、立ち去りましょう。

ワンポイント

ヒグマが立ち上がるのは、多くの場合、周囲のようすをうかがうための行動です。威嚇しているわけではありません。



市民の皆さまへのお願い

ヒグマの出没情報は

札幌市のホームページで確認しましょう。または、最寄りの区役所までおたずねください。

問い合わせ先

<札幌市>
ホームページ… <http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/>
札幌市市民まちづくり局地域振興部政課…011-211-2252

<区役所>
中央区役所……………011-231-2400
豊平区役所……………011-822-2400
清田区役所……………011-889-2400
南区役所……………011-582-2400
西区役所……………011-641-2400
手稲区役所……………011-681-2400

住宅地や公園でヒグマを目撃した場合は

最寄りの交番か、110番へ通報してください。

ヒグマのことをもっと知りたい方は

札幌市のホームページでは、ヒグマの生態や行動習性などについても説明しています。また、過去の調査報告書なども読むことができます。ぜひご覧ください。

発行:

札幌市市民まちづくり局地域振興部政課
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎13階
電話番号：011-211-2252
FAX番号：011-218-5156

図 4-4-33 ヒグマリーフレット 裏表紙側の面